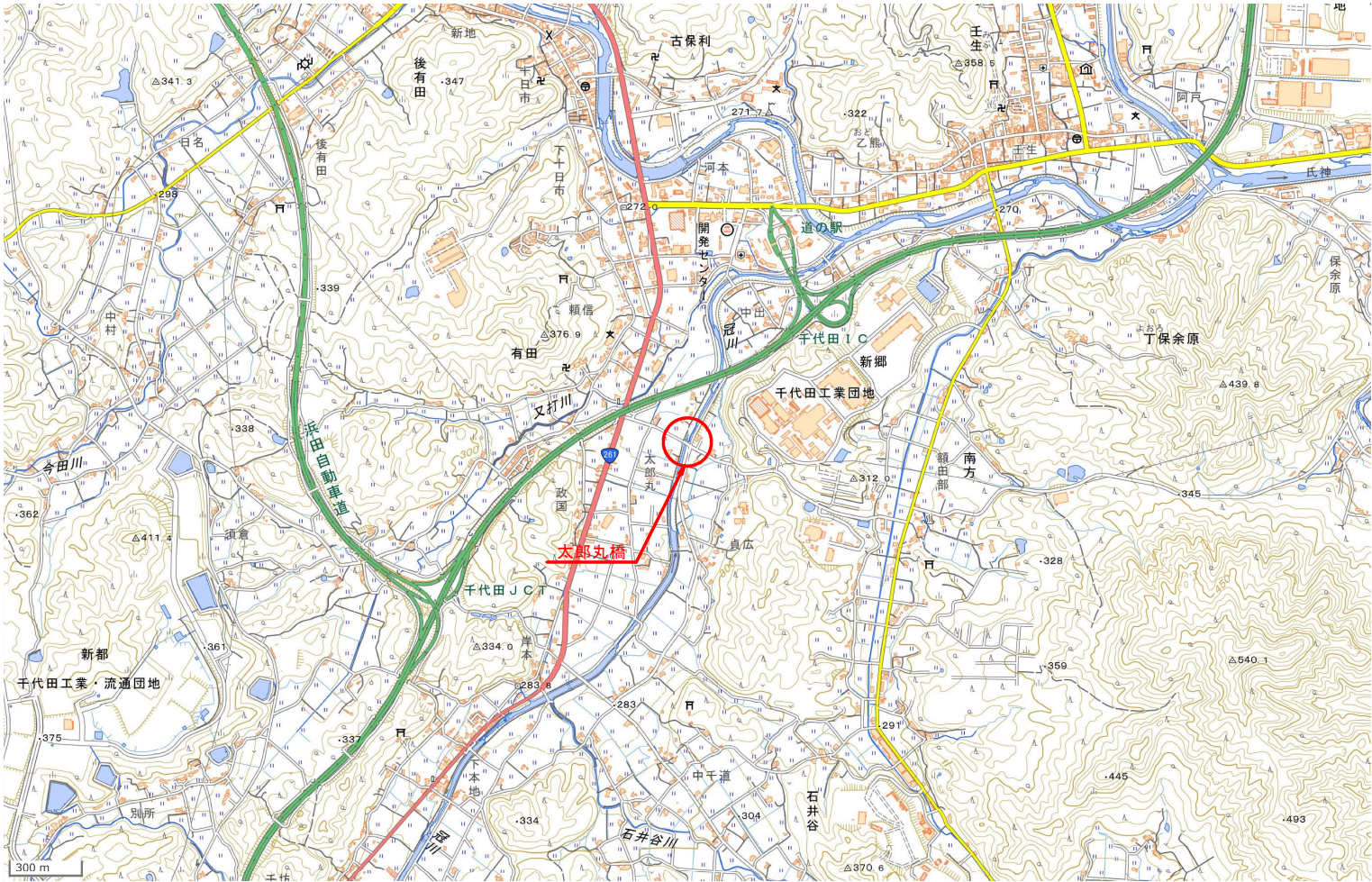


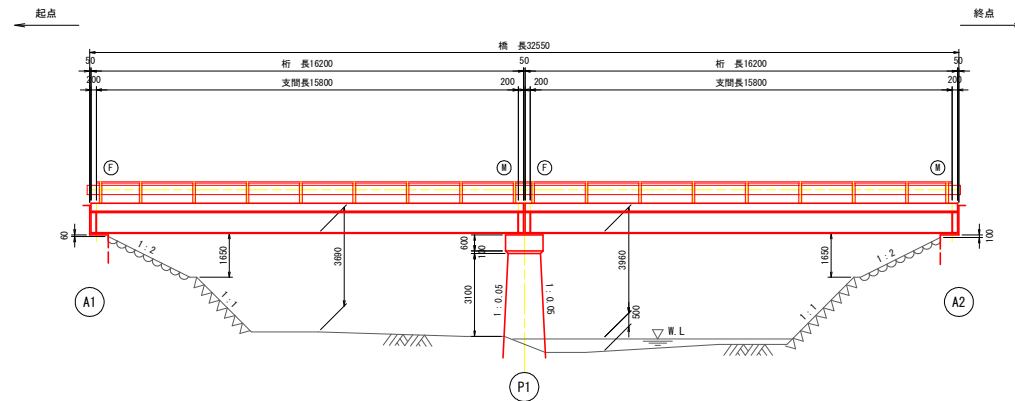
太郎丸橋 位置図 S=1:10000



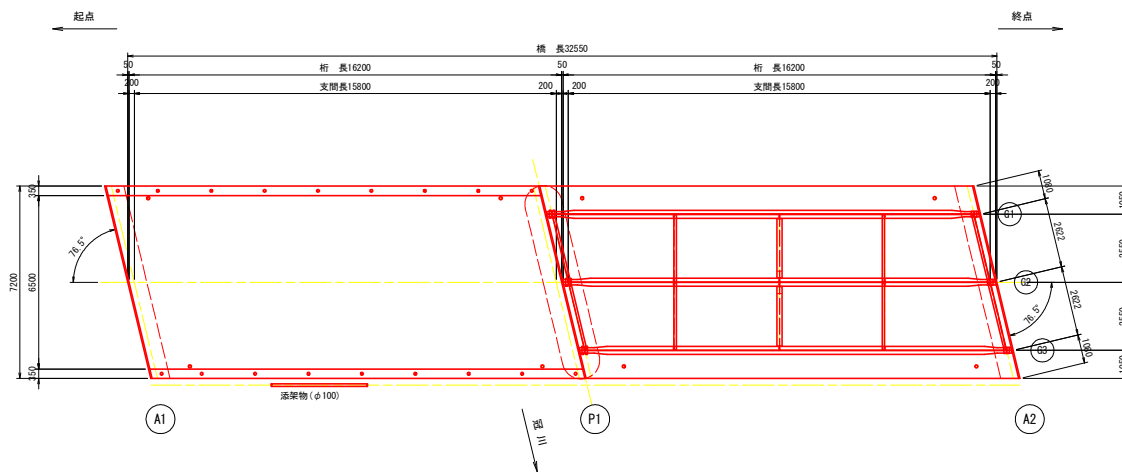
工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	位置図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:10000	図面番号	1/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
免注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

太郎丸橋 橋梁一般図

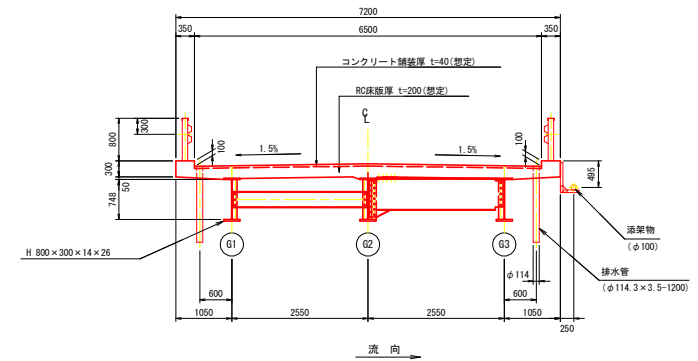
側面図 S=1:100



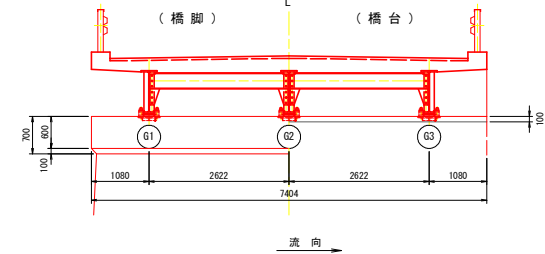
平面図 S=1:100



標準断面図 S=1:50



支点部断面図 S=1:50



橋梁諸元	
橋梁名	太郎丸橋
路線名	南方八重線
橋 長	32.550m
桁 長	16.200m
支間長	15.800m
全幅員	7.200m
有効幅員	6.500m
活荷重	TL-14推定
上部工形式	2径間単純合成H型鋼橋
下部工形式	逆T式橋台、型式橋脚(RC)
基礎工形式	直接基礎
適用示方書	昭和39年鋼道橋設計示方書
竣工年度	昭和48年(1973年)

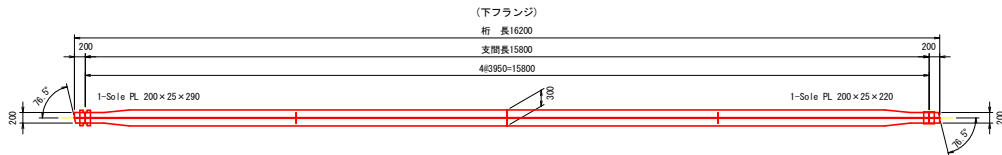
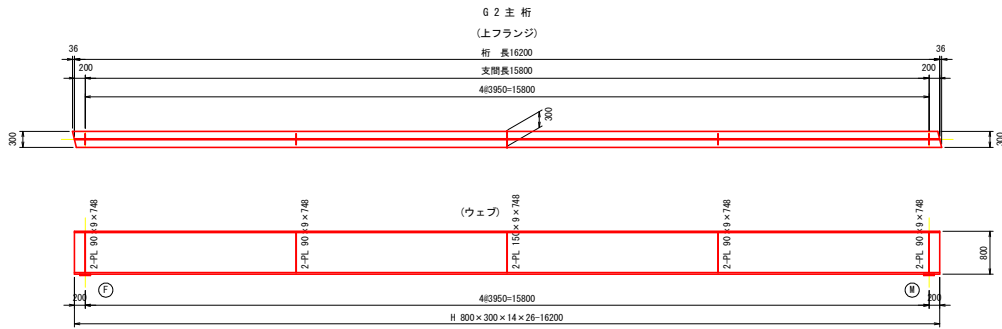
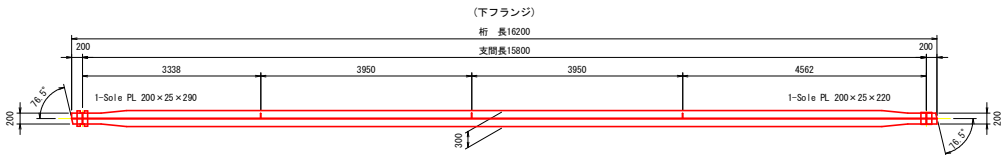
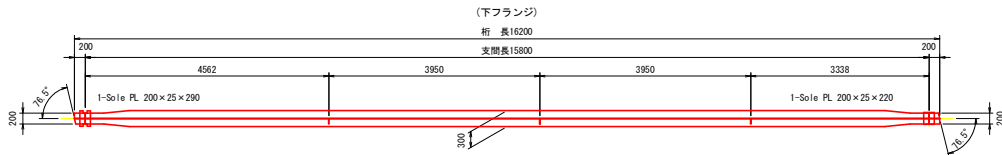
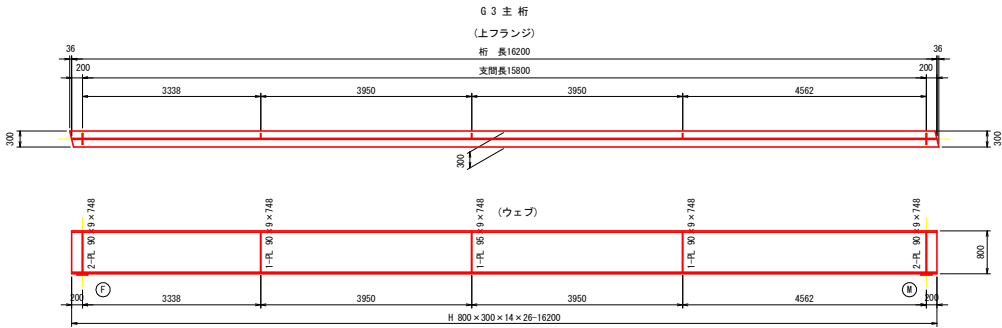
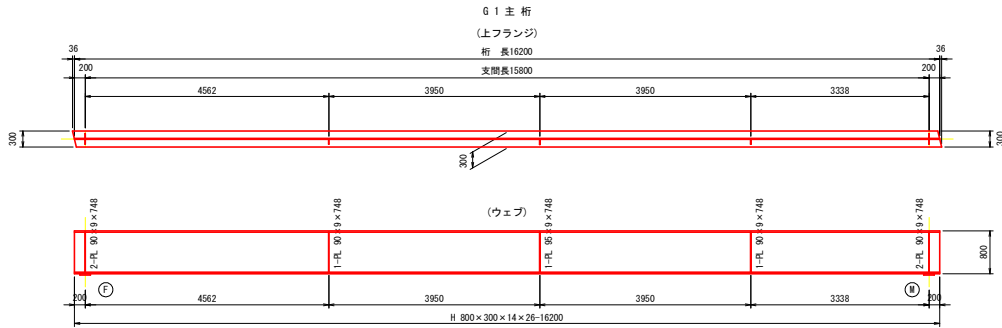
※本図は現地計測結果をもとに作成した復元図である。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	橋梁一般図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	2/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

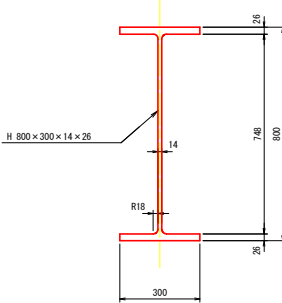
太郎丸橋 上部工構造図 (その1)

S=1:50

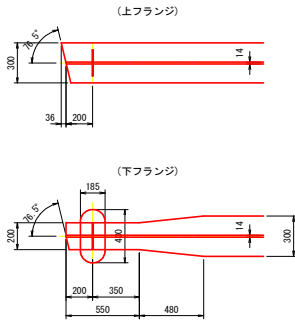
主 桁



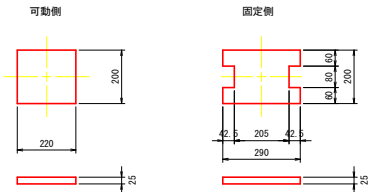
主桁断面図 S=1:10



主桁端部詳細図 S=1:20



ソールプレート S=1:10

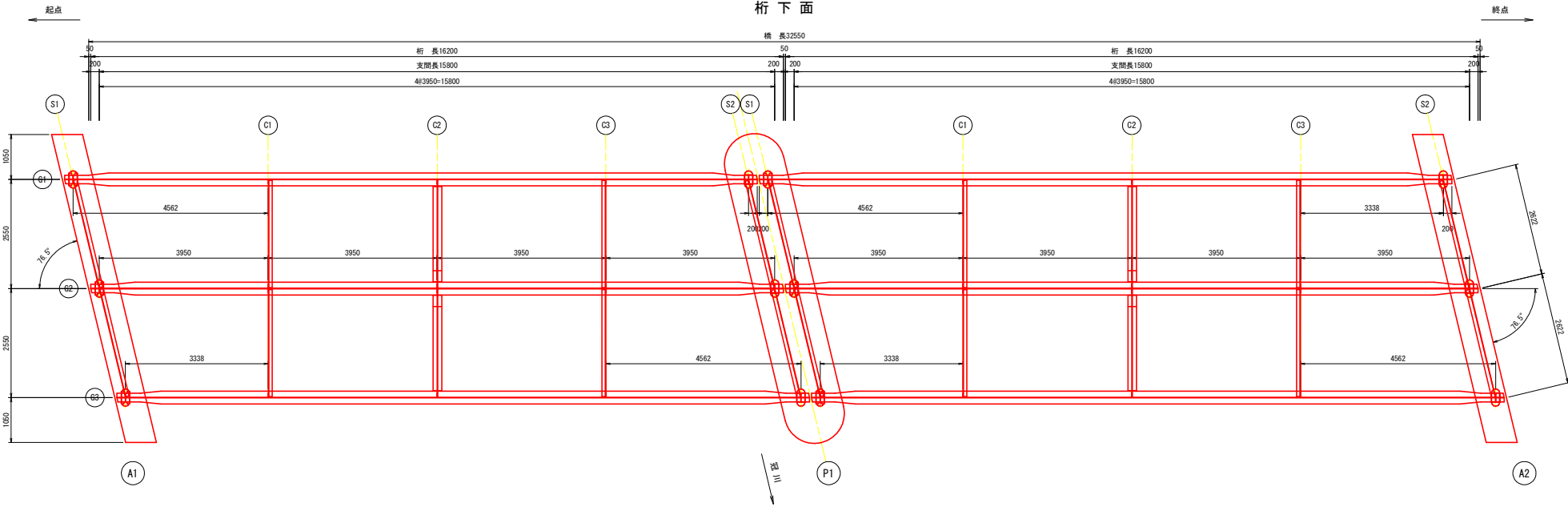


※本図は現地計測結果をもとに作成した復元図である。

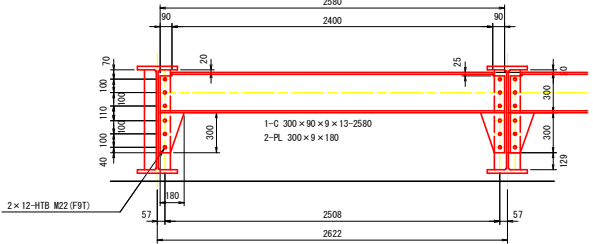
工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	上部工構造図 (その1)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	3/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

太郎丸橋 上部工構造図 (その2)

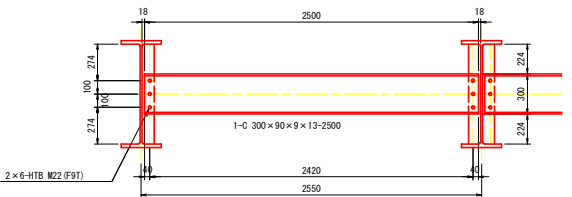
S=1:50



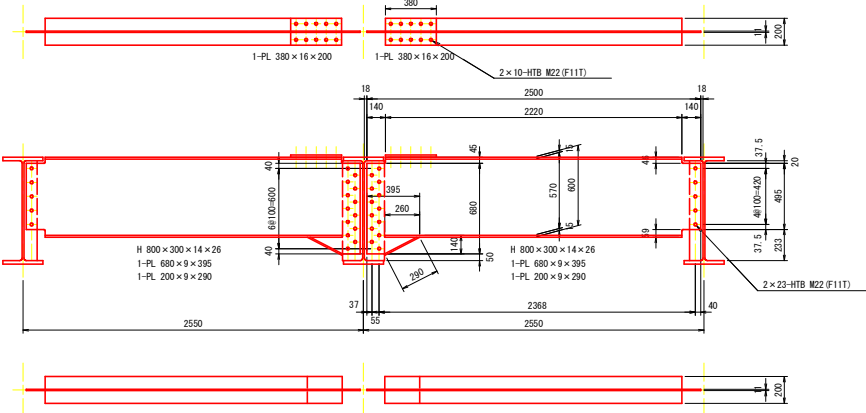
端横桁 S=1:20



中間横桁 S=1:20



分配横桁 S=1:20



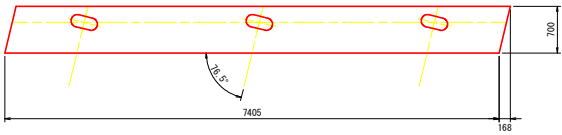
※本図は現地計測結果をもとに作成した復元図である。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	上部工構造図 (その2)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	4/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

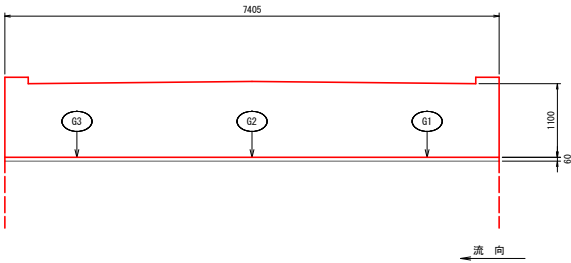
太郎丸橋 下部工構造図 (その1)

S=1:40

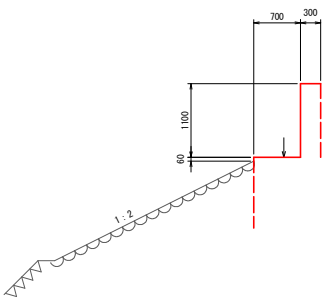
A 1 橋 台
平面図



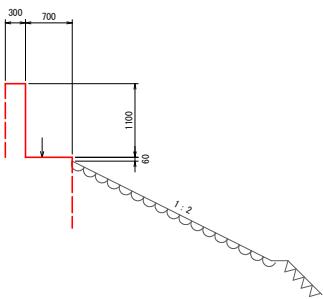
正面図



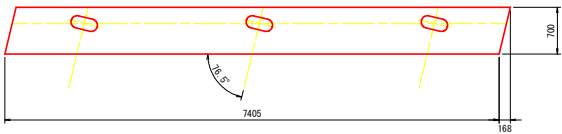
側面図
(上流側)



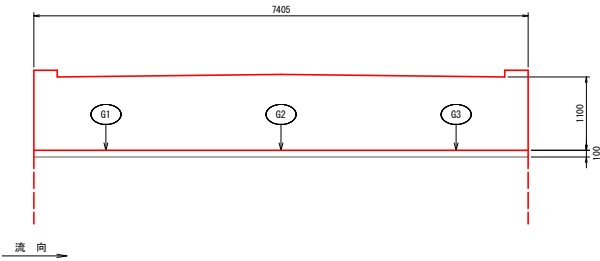
側面図
(下流側)



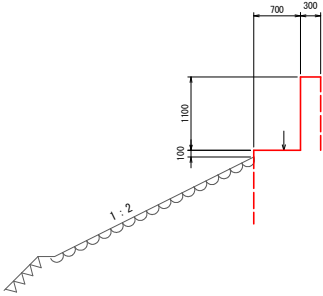
A 2 橋 台
平面図



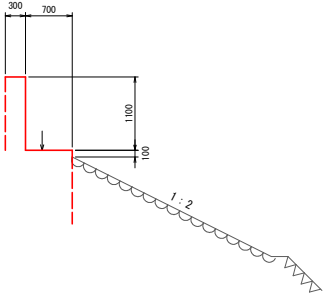
正面図



側面図
(下流側)



側面図
(上流側)



※本図は現地計測結果をもとに作成した復元図である。

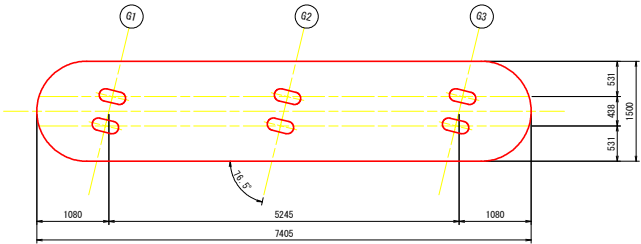
工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	下部工構造図 (その1)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:40	図面番号	8/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

太郎丸橋 下部工構造図 (その2)

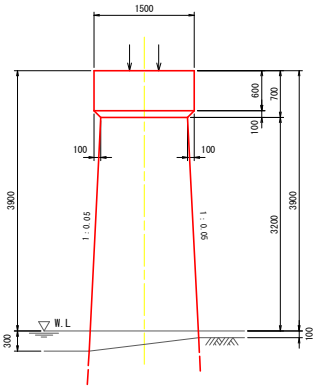
S=1:40

P 1 橋 脚

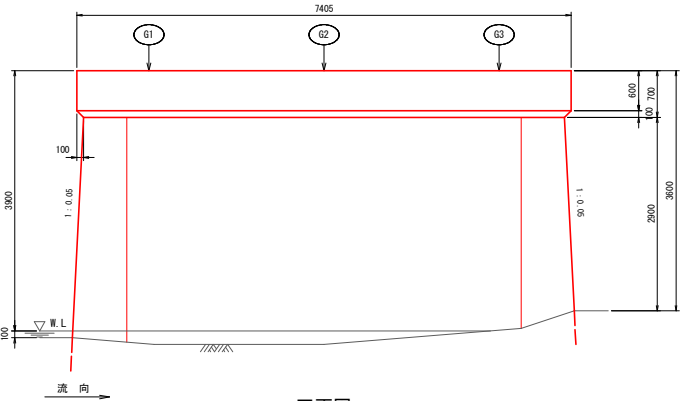
平面図



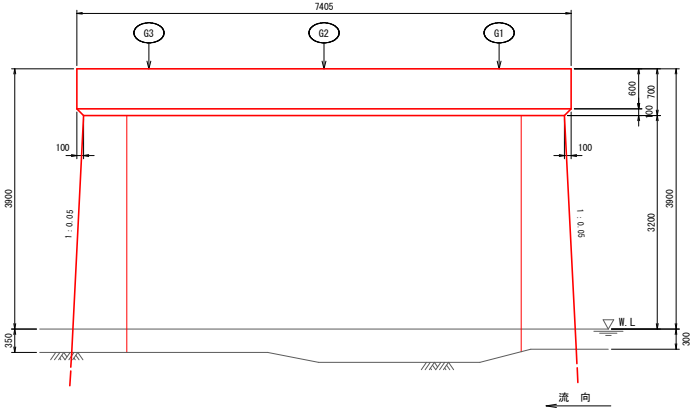
側面図
(上流側)



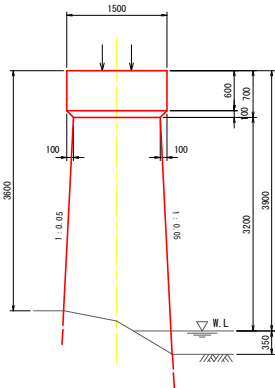
正面図
(起点側)



正面図
(終点側)



側面図
(下流側)

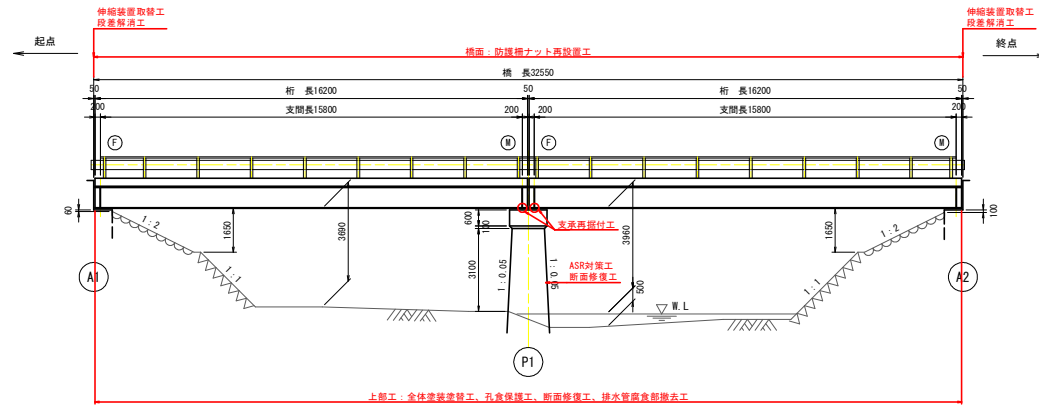


※本図は現地計測結果をもとに作成した復元図である。

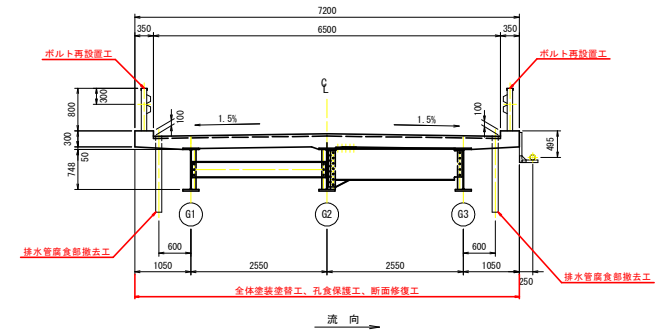
工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	下部工構造図 (その2)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:40	図面番号	9/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
免注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

太郎丸橋 補修一般図

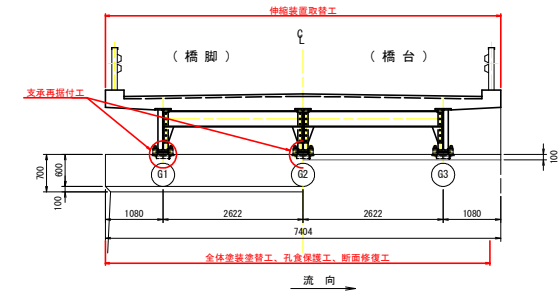
側面図 S=1:100



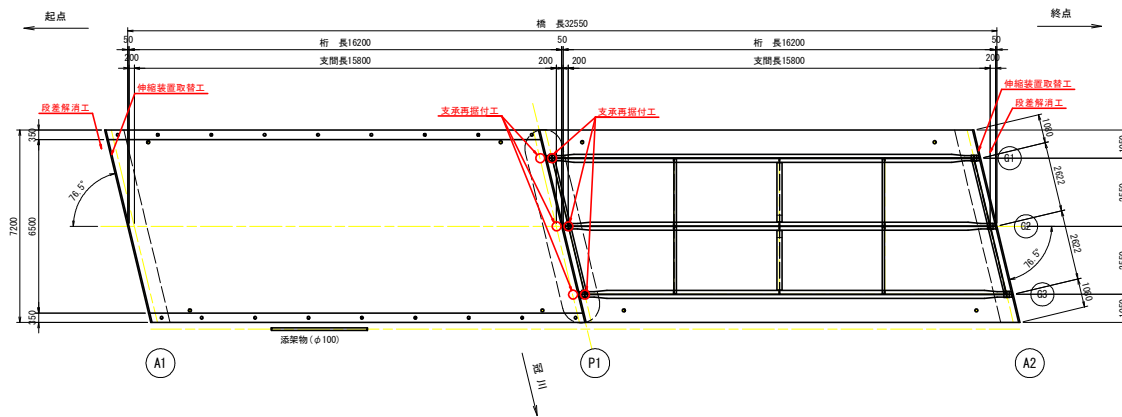
標準断面図 S=1:50



支点部断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



橋梁諸元	
橋梁名	太郎丸橋
路線名	南方八重線
橋 長	32.550m
桁 長	16.200m
支間長	15.800m
全幅員	7.200m
有効幅員	6.500m
活荷重	TL-14推定
上部工形式	2径間単純合成H型鋼橋
下部工形式	逆T式橋台、型式橋脚(RC)
基礎工形式	直接基礎
適用示方書	昭和39年鋼道橋設計示方書
竣工年度	昭和48年(1973年)

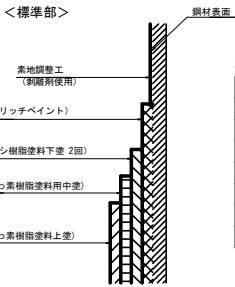
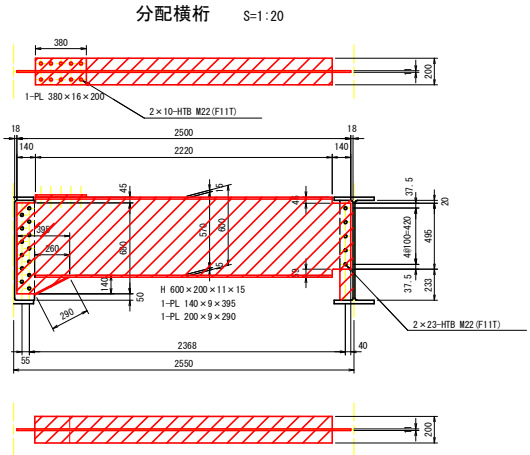
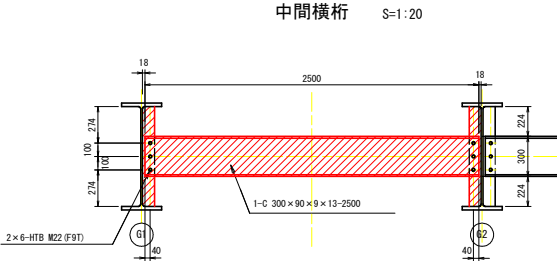
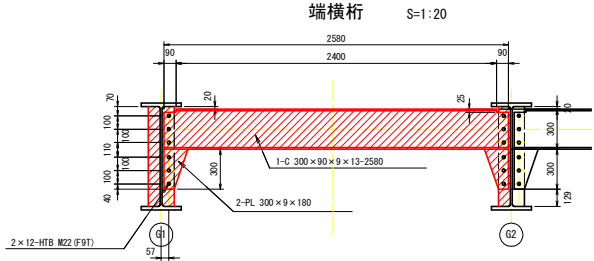
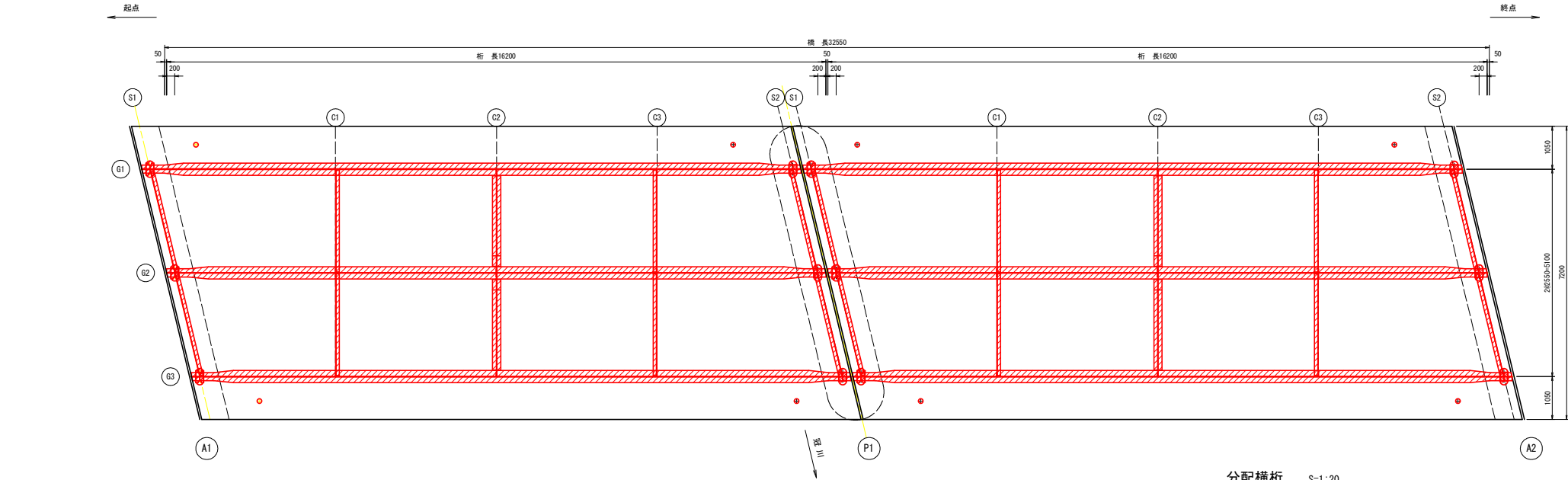
※本図は現地計測結果をもとに作成した復元図である。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	補修一般図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	10/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

太郎丸橋 全体塗装塗り替え工補修図（その1）

凡 例	
塗装塗り替え範囲	

平面図 S=1:50



塗装仕様Rc-1 塗装系					
塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量 (kg/m2)	標準厚 (μm)	塗装間隔
塗装除去	塗膜剝離剤				
素地調整	1種ケレン(プラスト面形成道具)				4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75	1日~10日
下 塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日~10日
中 塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日~10日
中 塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	スプレー	170	30	
上 塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	25	1日~10日

補修工法一覧	
工 法	種 別
塗装塗り替え工	塗膜剝離剤+Rc-1 塗装系

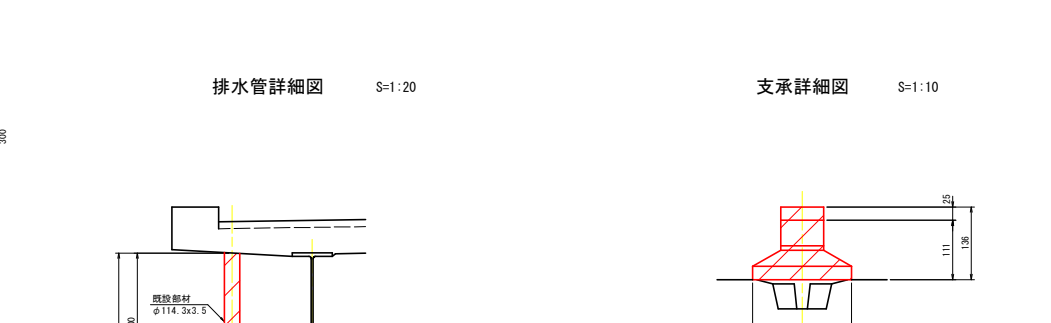
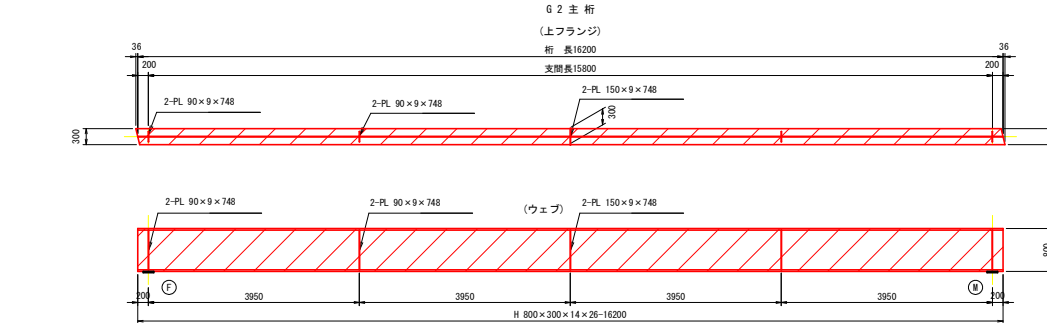
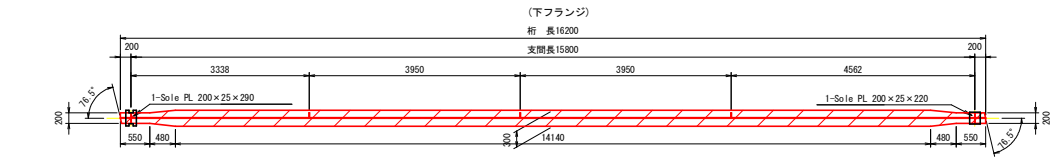
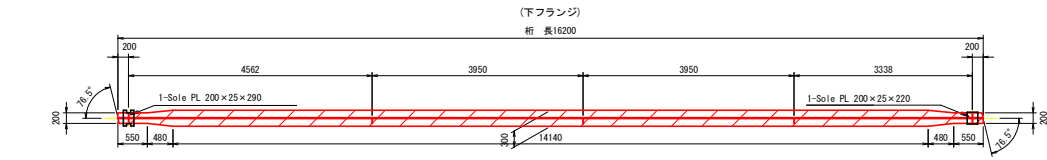
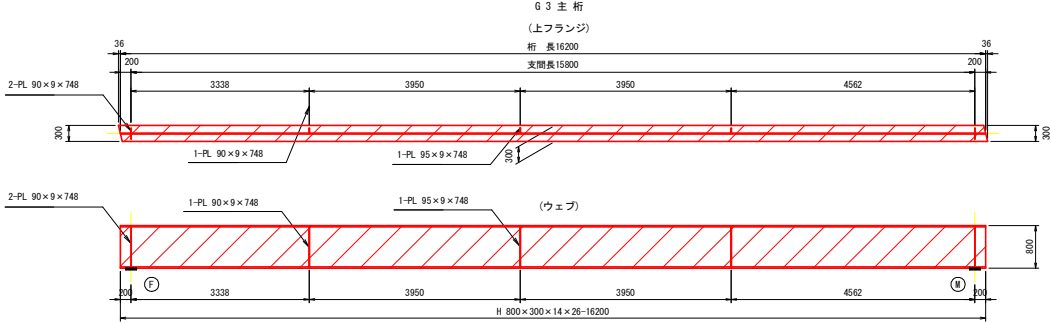
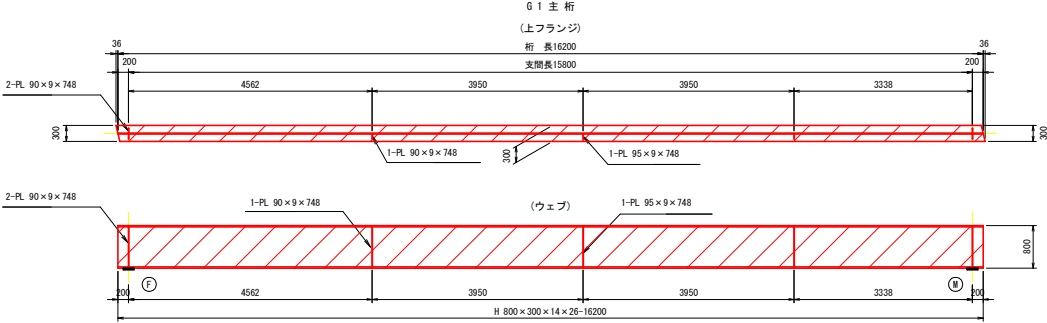
- 【注記】
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 3. 80作業の安全性を考慮し、塗膜剝離剤で剥離を除去した後で1種ケレンを行う計画としている。
 4. 塗膜剝離剤はベンジルアルコールを含みます。経済性に優れるネオリバー泥バックType1 (IBKK-070037-VR) を推奨している。
 5. 塗膜剝離剤は、1回で剥離しない場合は複数回実施すること。
 6. 素地調整は経済性に優れた粉塵の発生が少ない1種ケレンを確保できるプラスト面形成動力工具プリストルプラスターW (IBOS-110021-VR) としている。
 7. 橋座付近の狭い箇所は、やむを得ず素地調整2種または3種とすること。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	全体塗装塗り替え工補修図（その1）		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	11/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

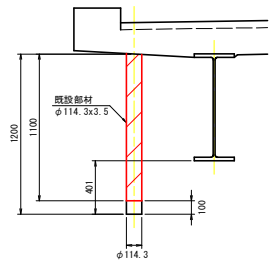
太郎丸橋 全体塗装塗り替え工補修図（その2）

凡 例	
塗装塗り替え範囲	

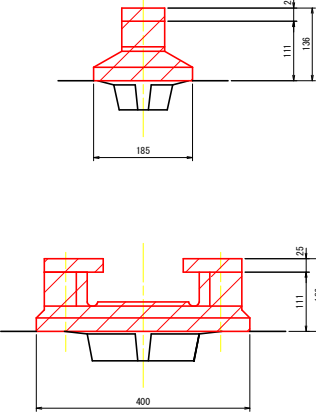
主桁詳細図 S=1:50



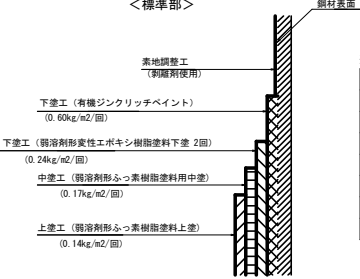
排水管詳細図 S=1:20



支承詳細図 S=1:10



<標準部>



塗装仕様Rc-1塗装系

塗装工程	塗料名	塗装方法	使用量 (g/m2)	標準厚 (μm)	塗装間隔
塗膜除去	塗膜剝離剤				
素地調整	1種ケレン(プラスト面形成道具)				4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	75	1日~10日
下 塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日~10日
下 塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	60	1日~10日
中 塗	弱溶剤フッ素樹脂塗料中塗	スプレー	170	30	1日~10日
上 塗	弱溶剤フッ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	25	1日~10日

補修工法一覧

工 法	種 別
塗装塗り替え工	塗膜剝離剤+Rc-1 塗装系

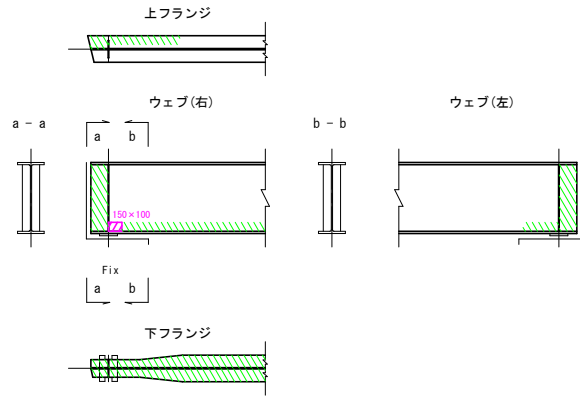
- 注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 3. 給排水の安全性を考慮し、塗膜剝離剤で塗膜を除去した後に、種アレンを行う計画としている。
 4. 塗膜剝離剤はベンジアルコールを含みます。経済性に優れるネオリバー泥(バックタイプ) (IBKK-070037-VR) を推奨している。
 5. 塗膜剝離剤は、1回で剥離しない場合は複数回実施すること。
 6. 素地調整は経済性に優れ粉塵の発生が少なく1種ケレンを確保できるプラスト面形成動力工具プリストルプラスターW (IBOS-110021-VR) としている。
 7. 橋梁付近の狭路部でプラスト面形成は、やむを得ず素地調整2種または3種とすること。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】
図面名	全体塗装塗り替え工補修図（その2）
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	図 示 図面番号 12/33
会社名	株式会社 ウエスコ
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課

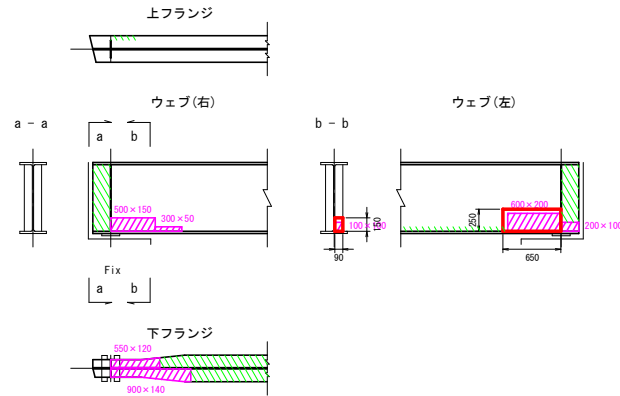
太郎丸橋 孔食保護工補修図（その1） S=1:30

主桁・横桁

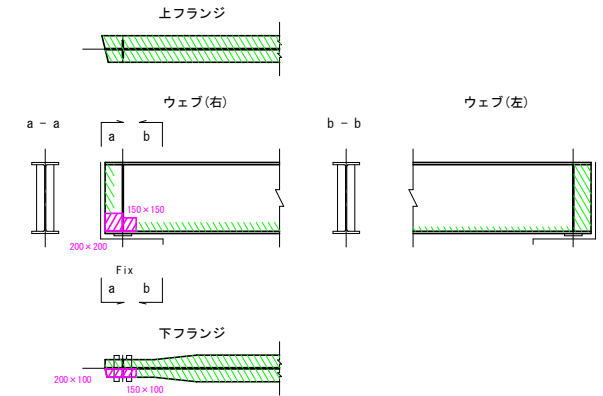
A1支支部 G1主桁



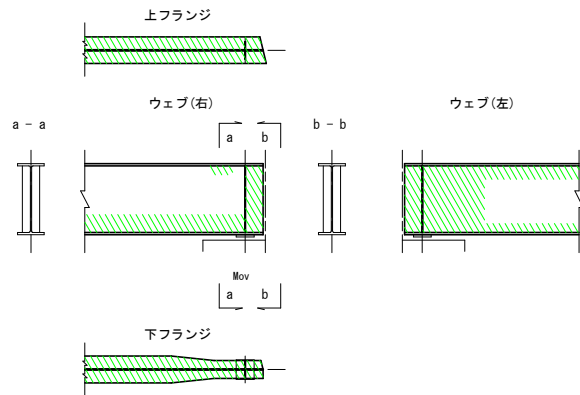
A1支支部 G2主桁



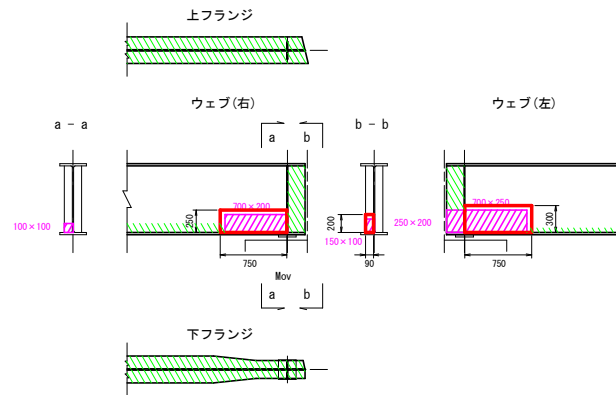
A1支支部 G3主桁



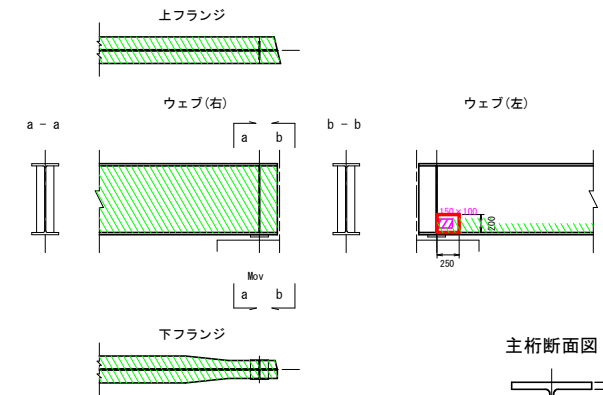
P1支支部(起点側) G1主桁



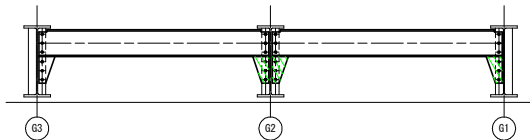
P1支支部(起点側) G2主桁



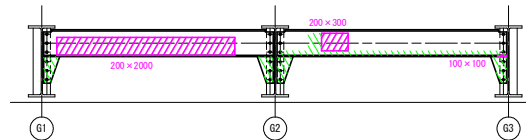
P1支支部(起点側) G3主桁



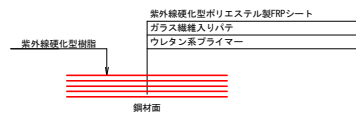
A1支支部 端横桁



P1(起点側)支支部 端横桁



FRPシート 断面図



補修工法一覧

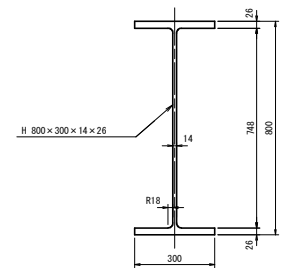
工 法	種 別
孔食保護工	紫外線硬化型FRPシート貼り付け

- 注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 3. 対象箇所は腐食減厚量1～2mm以上の箇所を抽出している。
 4. 本部材の腐食減厚部に対する補強は不要とする。
 5. 凹凸部はガラス繊維入りバネで平滑修正を行うこと。
 6. FRPシート貼り付け後に塗装を行うこと。

腐 食 凡 例

損傷の種類	表 示
腐食(表面のみ)	
腐食(板厚減少、著しい膨張)	
断面欠損、貫通孔	
その他	

主桁断面図 S=1:10

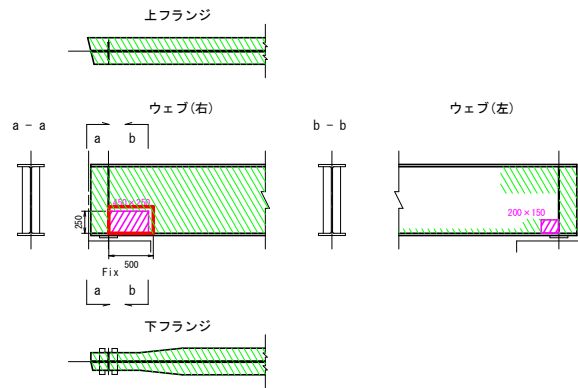


工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】
図面名	孔食保護工補修図（その1）
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	1:30 図面番号 13/33
会社名	株式会社 ウエスコ
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課

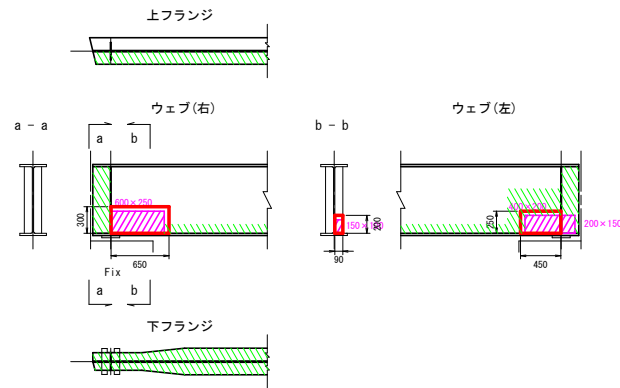
太郎丸橋 孔食保護工補修図（その2） S=1:30

主桁・横桁

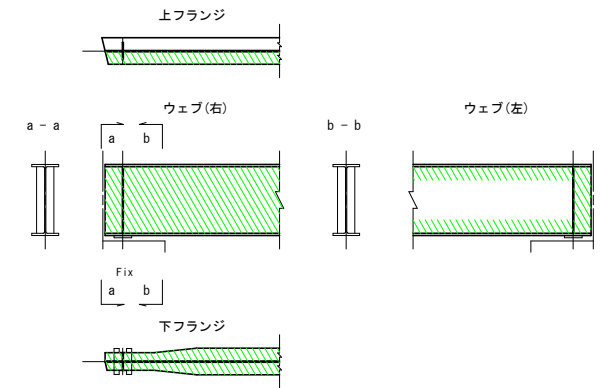
P1支点部（終点側）G1主桁



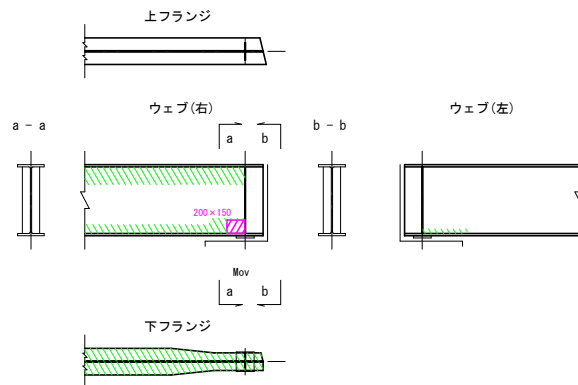
P1支点部（終点側）G2主桁



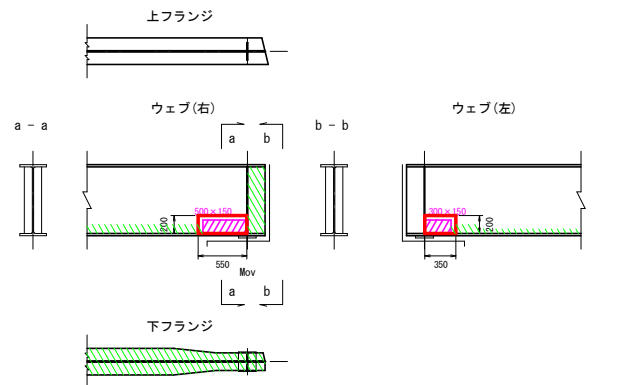
P1支点部（終点側）G3主桁



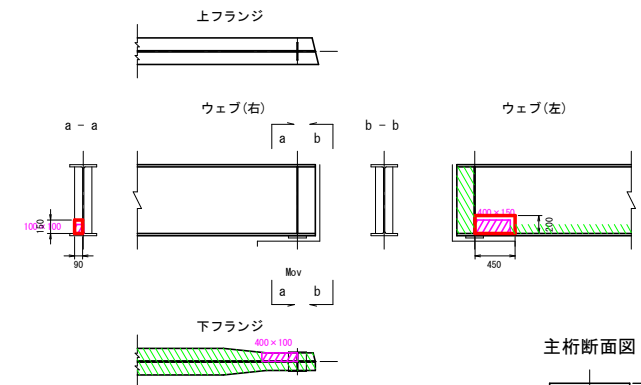
A2支点部 G1主桁



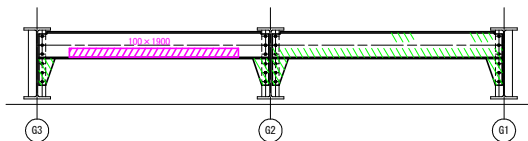
A2支点部 G2主桁



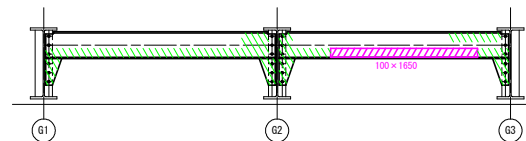
A2支点部 G3主桁



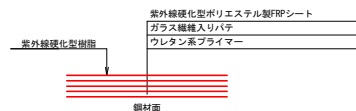
P1（終点側）支点部 端横桁



A2支点部 端横桁



FRPシート 断面図



補修工法一覧

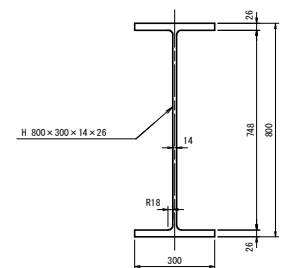
工法	種別
孔食保護工	炭素繊維強化型FRPシート貼り付け

- 注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 3. 対象箇所は腐食減厚量1～2mm以上の箇所を抽出している。
 4. 本部材の腐食減厚部に対する補強は不要とする。
 5. 凹み部はガラス繊維入りバネで平復修正を行うこと。
 6. FRPシート貼り付け後に塗装を行うこと。

腐食凡例

損傷の種類	表示
腐食（表面のみ）	（赤い点線）
腐食（板厚減少、著しい凹み）	（赤い斜線）
断面欠損、貫通孔	（赤い点線）
その他	（赤い点線）

主桁断面図 S=1:10

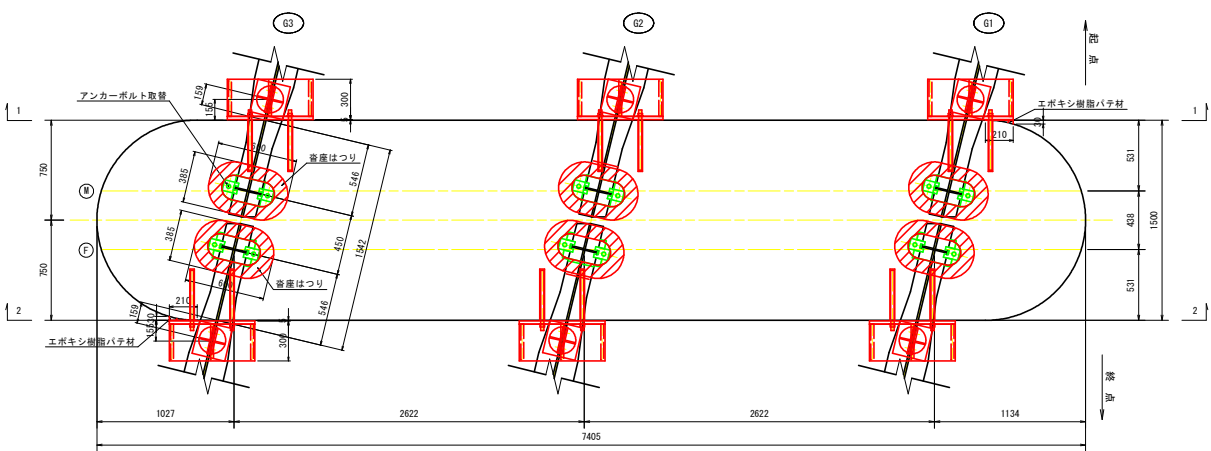


工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】
図面名	孔食保護工補修図（その2）
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	1:30 図面番号 14/33
会社名	株式会社 ウエスコ
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課

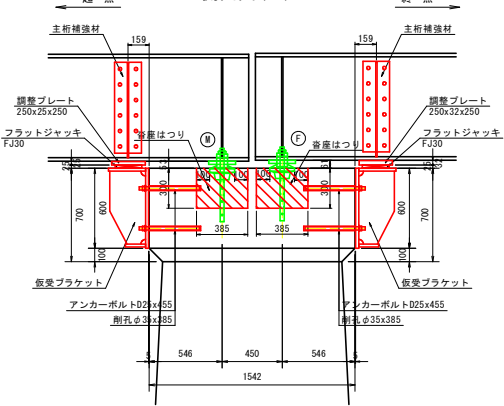
太郎丸橋 支承再据付工配置図 S=1:20

P 1 橋 脚

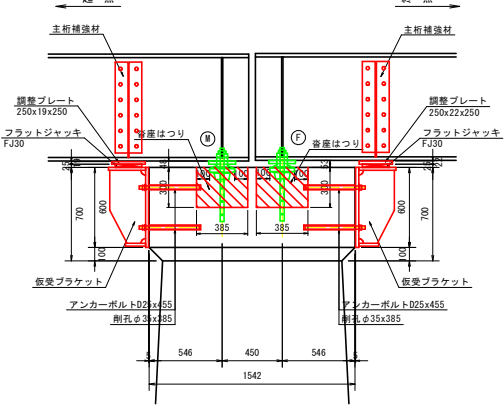
平面図



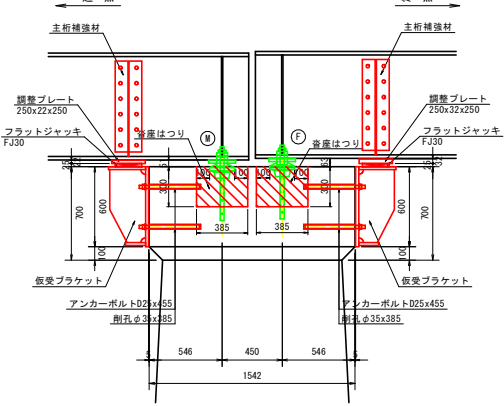
側面図 (G1)



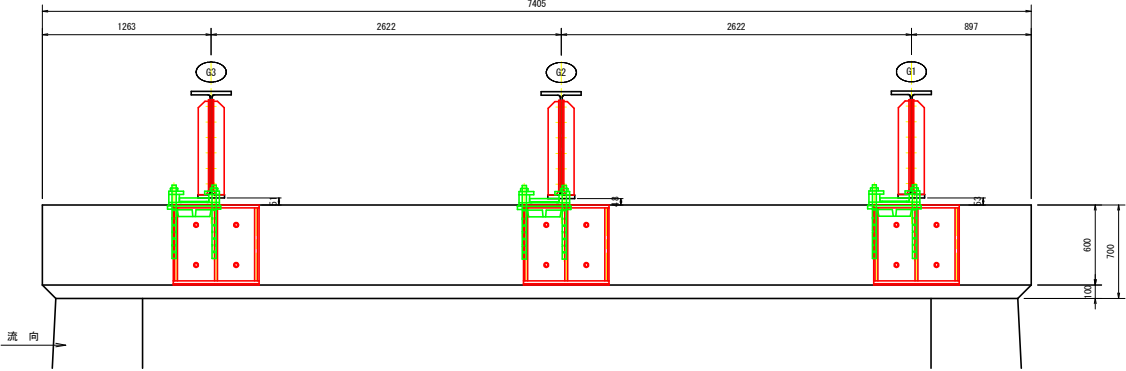
側面図 (G2)



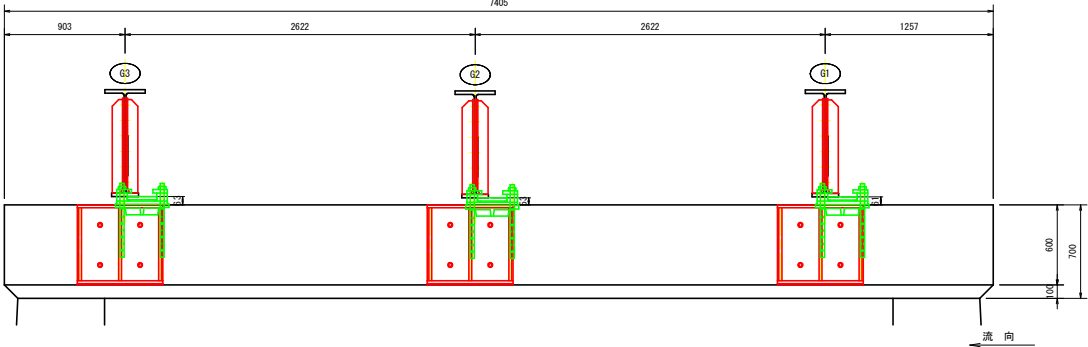
側面図 (G3)



1-1正面図 (起点側)



2-2正面図 (終点側)



補修工法一覧

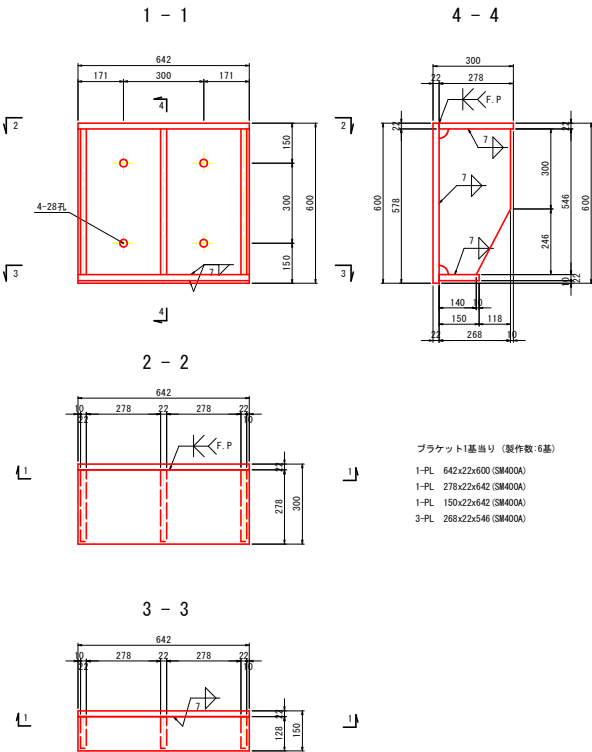
工 法	種 別
支承再据付工	仮受ブラケット設置・無収縮モルタル充填 アンカーボルト取替

- 注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 3. 支承仮受時は死荷重しか考慮していないため、必ず通行止にして施工すること。

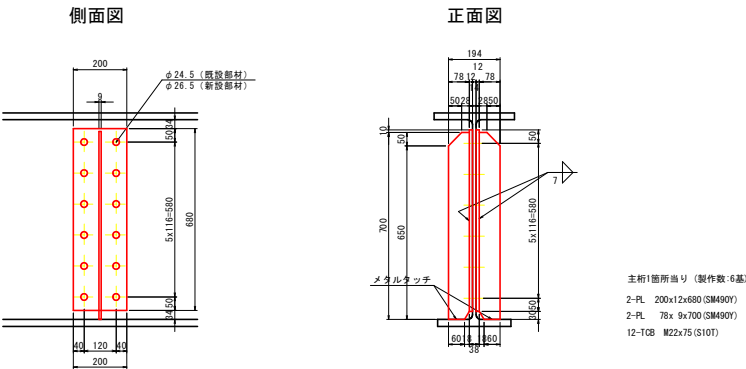
工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	支承再据付工配置図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:20	図面番号	15/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

太郎丸橋 支承再据付工詳細図 S=1:10

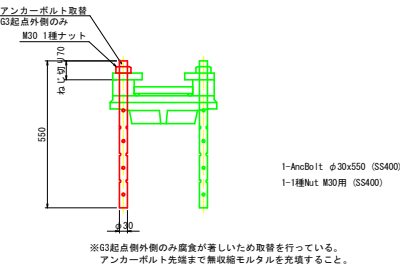
下部エブラケット詳細図



主桁補強材詳細図



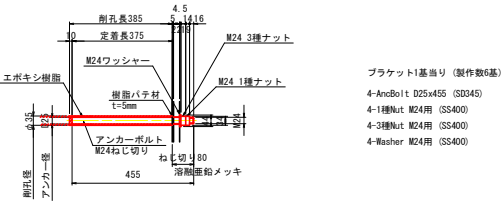
アンカーボルト取替詳細図



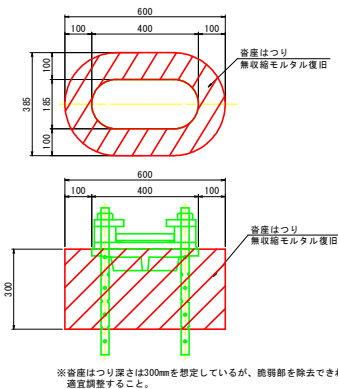
補修工法一覧

工 法	種 別
支承再据付工	収受ブラケット設置・無収縮モルタル充填 アンカーボルト取替

アンカーボルト詳細図



沓座はつり復旧範囲図

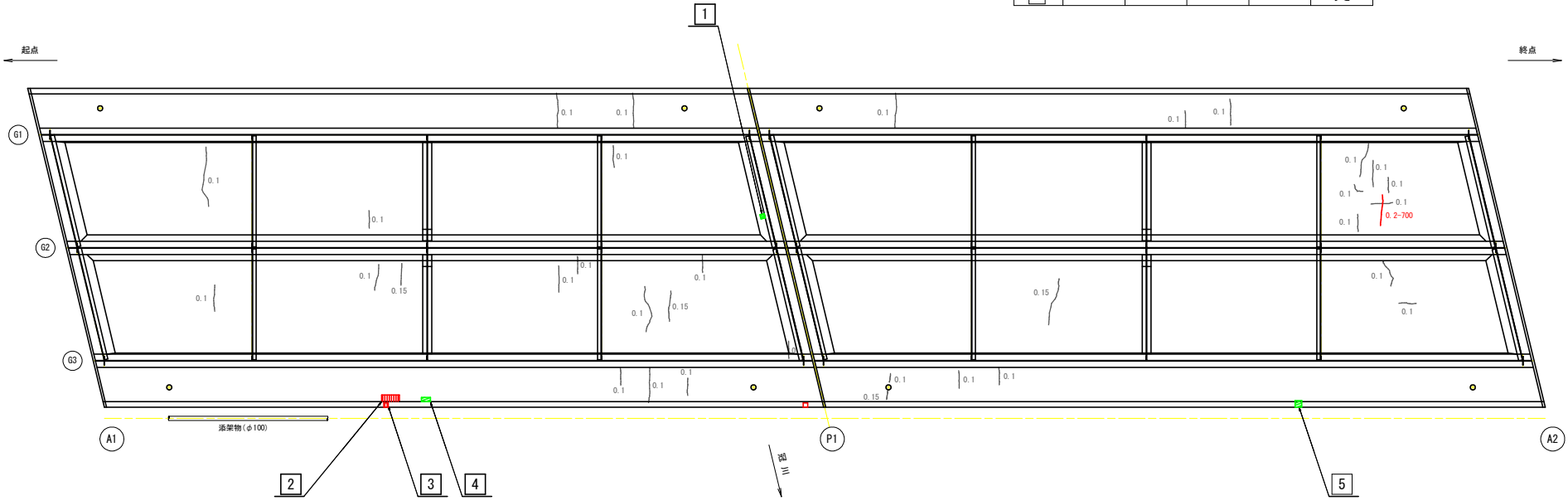


- 注記)
- 図中寸法は、現地実測の上決定のこと。
 - コンクリート削孔は、事前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋位置を確認の上で行うこと。
 - コンクリート削孔は、既設鉄筋を切断しないようにアンカー孔の配置を調整のこと。切断の必要がある場合は監督職員と協議のこと。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
ただし、アンカーボルト、ボルト、ナット類はR235とする。
 - 下部エブラケットは溶融亜鉛メッキH0Z55を施すこと。
 - ブラケットは撤去し、アンカーボルトは残置のこと。
 - 上段のアンカー高さがずれる場合は応力計算を行うこと。
 - 図中の溶接記号の特別指示事項「F.P」は、完全溶込開先溶接を示す。
 - 高力ボルトの孔明けは新設部材φ28.5孔、既設部材φ24.5孔とする。
 - 主桁補強材は残置し、塗装仕様はF-11塗装系とする。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	支承再据付工詳細図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:10	図面番号	16/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

RC床版・排水管

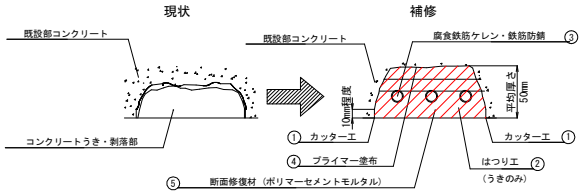
コンクリート変状箇所		数量表		桁下面	
番号	長さ (L) (m)	幅 (W) (m)	奥行き (m)	体積 (m3)	備考
1	0.10	0.10	0.05	0.0005	うき
2	0.40	0.15	0.05	0.0030	鉄筋露出
3	0.10	0.10	0.05	0.0005	鉄筋露出
4	0.20	0.10	0.05	0.0010	うき
5	0.15	0.15	0.05	0.0011	うき



損傷凡例

損傷の種類	表 示
ひびわれ	0.2mm未満 0.1
	0.2mm以上0.5mm未満 0.2
	0.5mm以上1.0mm未満 0.5
	1.0mm以上 1.0
うき	U
剥離・鉄筋露出	剥離・ジャンカ H
	鉄筋露出 T
漏水・湧水	R
遊離石灰	Y
腐食	B
その他	O

断面修復工要領図
[ポリマーセメントモルタル]



補修工法一覧

工 法	種 別
断面修復工	ポリマーセメントモルタル

- 注記)
- 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
 - 鉄筋が露出している場合は、鉄筋の束頭まではつりケレンすること。
 - 鉄筋が露出している場合は、鉄筋の束頭まではつりケレンすること。
 - 断面修復厚は5cmとしているが、現地状況に応じて適宜変更すること。
 - 床版のひびわれ補修は対象外としている。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	上部工断面修復工補修図（その1）		
作成年月日	令和 年 月 日	図面番号	18/33
縮尺	1:50	図面番号	18/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

太郎丸橋 上部工断面修復工補修図（その2） S=1:50

損傷凡例

損傷の種類		表 示
ひびわれ	0.2mm未満	0.1
	0.2mm以上0.5mm未満	0.2
	0.5mm以上1.0mm未満	0.5
	1.0mm以上	1.0
うき		U
剥離・鉄筋露出	剥離・ジャンカ	H
	鉄筋露出	T
漏水・滲水		S
遊離石灰		L
腐食		D
その他		O

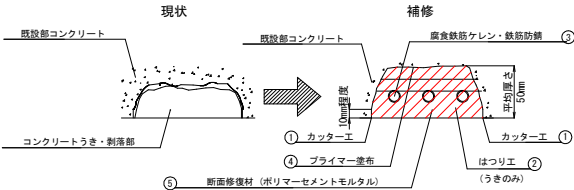
コンクリート変状箇所 数量表

地覆側面					
番号	長さ(L) (m)	幅(W) (m)	奥行き (m)	体積 (m3)	備考
1	0.15	0.20	0.06	0.0018	剥離
2	0.30	0.10	0.05	0.0015	剥離
3	0.30	0.10	0.05	0.0015	剥離

橋 面



断面修復工要領図
[ポリマーセメントモルタル]



コンクリート変状箇所 数量表

橋 面					
番号	長さ(L) (m)	幅(W) (m)	奥行き (m)	体積 (m3)	備考
1	0.10	0.20	0.05	0.0010	鉄筋露出
2	0.10	0.10	0.05	0.0005	鉄筋露出

補修工法一覧

工 法	種 別
断面修復工	ポリマーセメントモルタル

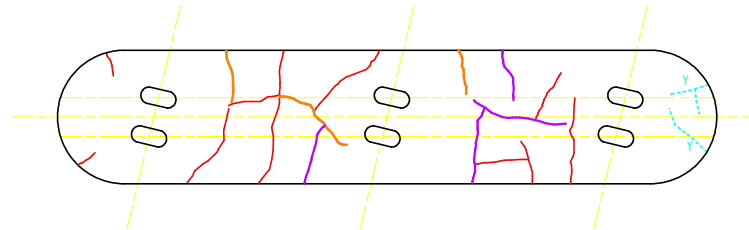
- 注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
 2. 鉄筋が腐食腐蝕している場合は、鉄筋の束頭まではつりケレンすること。
 3. 鉄筋が腐蝕腐蝕している場合は、鉄筋が腐蝕腐蝕している場合は、鉄筋の束頭まではつりケレンすること。
 4. 断面修復厚は5cmとしているが、現地状況に応じて適宜変更すること。
 5. 床版のひびわれ補修は対象外としている。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	上部工断面修復工補修図（その2）		
作成年月日	令和 年 月 日	図面番号	19/33
縮尺	1:50	図面番号	19/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

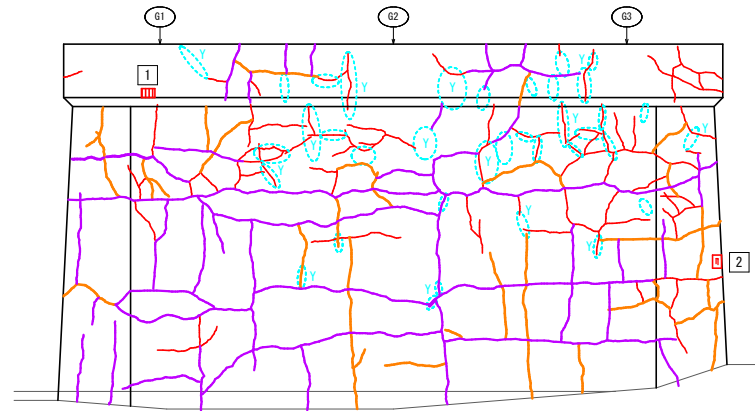
太郎丸橋 下部工断面修復工補修図 S=1:30

P1 橋脚

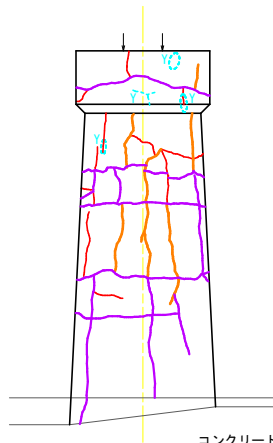
平面図



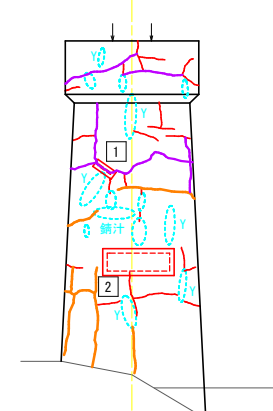
正面図
(起点側)



側面図
(上流側)



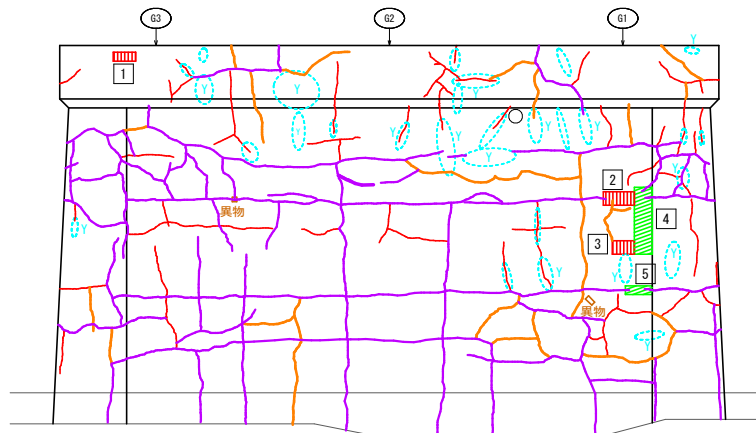
側面図
(下流側)



損傷の種類		表示
ひびわれ	0.2mm未満	0.1
	0.2mm以上0.5mm未満	0.2
	0.5mm以上1.0mm未満	0.5
	1.0mm以上	1.0
うき		U
剝離・鉄筋露出	剝離・ジャンカ	H
	鉄筋露出	T
漏水・滲水		L
遊離石灰		S
腐食		D
その他		O

コンクリート変状箇所 数量表		正面図 (起点側)			
番号	長さ (L) (m)	幅 (W) (m)	奥行き (m)	体積 (m ³)	備考
1	0.10	0.15	0.05	0.0008	鉄筋露出
2	0.15	0.10	0.05	0.0008	鉄筋露出

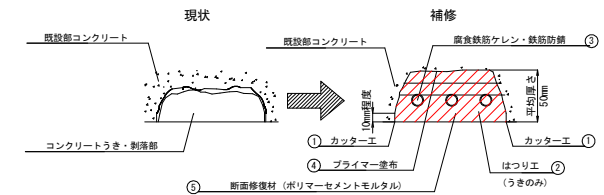
正面図
(終点側)



コンクリート変状箇所 数量表		正面図 (終点側)			
番号	長さ (L) (m)	幅 (W) (m)	奥行き (m)	体積 (m ³)	備考
1	0.10	0.25	0.05	0.0013	鉄筋露出
2	0.15	0.35	0.05	0.0026	鉄筋露出
3	0.15	0.25	0.05	0.0019	鉄筋露出
4	0.75	0.25	0.05	0.0094	うき
5	0.10	0.30	0.05	0.0015	うき

コンクリート変状箇所 数量表		側面図 (下流側)			
番号	長さ (L) (m)	幅 (W) (m)	奥行き (m)	体積 (m ³)	備考
1	0.25	0.10	0.05	0.0013	剝離
2	0.30	0.80	0.05	0.0120	剝離

断面修復工要領図
[ポリマーセメントモルタル]



補修工法一覧

工法	種別
断面修復工	ポリマーセメントモルタル

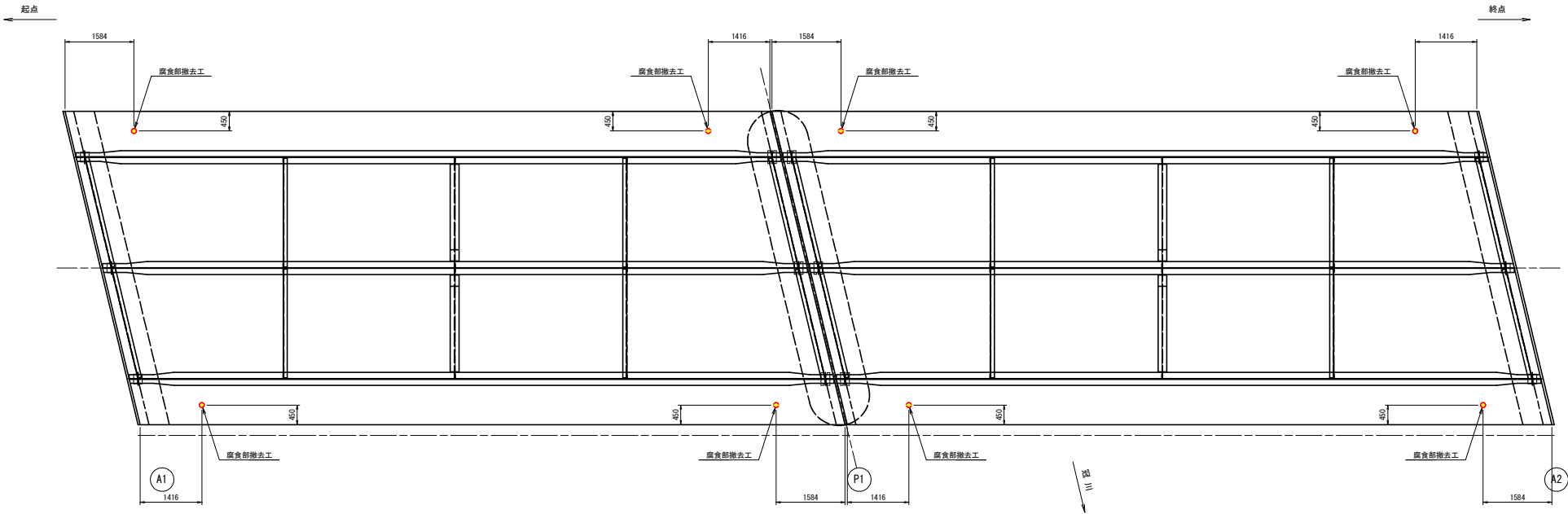
注記)

1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 低圧注入時の圧力は0.05～0.1MPaとする。
3. 鉄筋が腐食腐蝕している場合は、鉄筋の表面までハツリエンすること。
4. 鉄筋カブリが小さい場合は、鉄筋カブリ1cm確保できるように増設施工すること。
5. 断面修復厚は5cmとしているが、現地状況に応じて適宜変更すること。

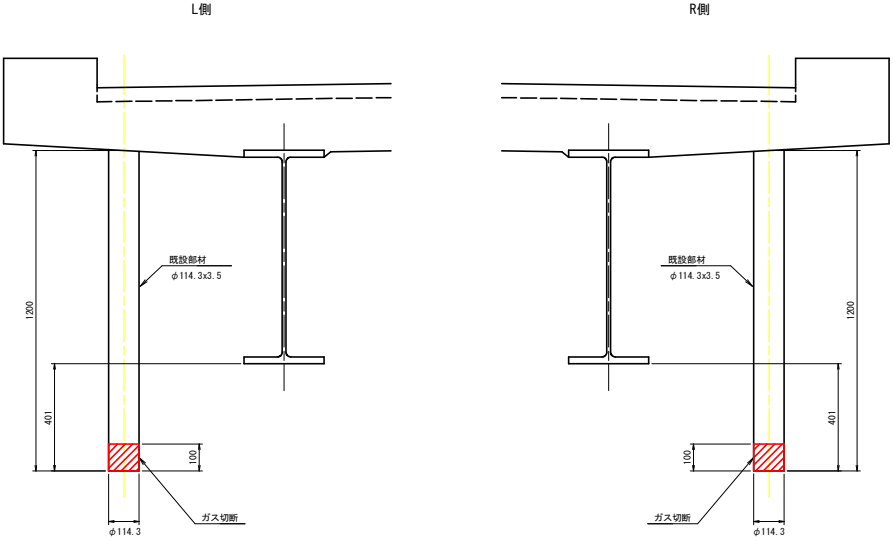
工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】
図面名	下部工断面修復工補修図
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	1:30 図面番号 20/33
会社名	株式会社 ウエスコ
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課

太郎丸橋 排水管腐食部撤去工補修図 S=1:50

平面図



排水管撤去図 S=1:10



補修工法一覧

工 法	種 別
腐食部撤去工	ガス切断

注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	排水管腐食部撤去工補修図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	21/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
免注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

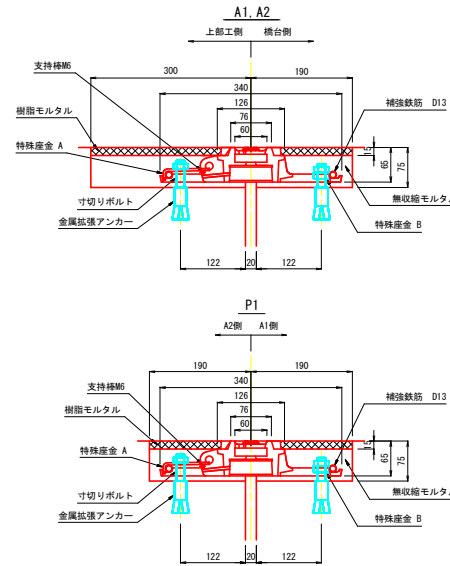
太郎丸橋 伸縮装置取替工補修図

A1, A2, P1 (車道部)

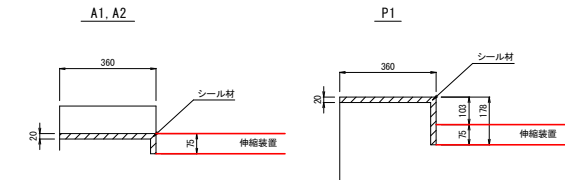
配置図 S=1:30



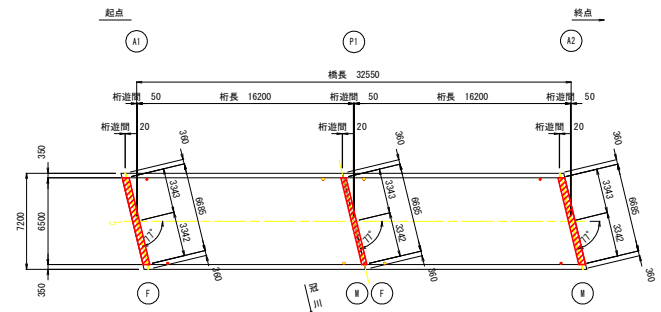
標準取付断面図 S=1:5



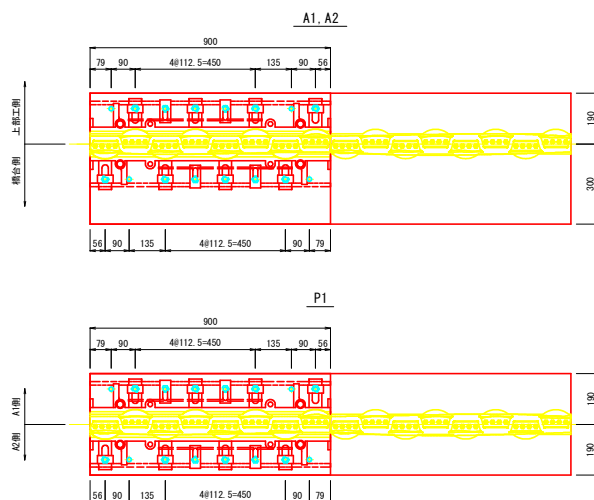
地覆部詳細図 S=1:10



位置図 S=1:200



標準取付平面図 S=1:10



伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	A1	A2	P1	合計	備考
			車道用	車道用	車道用		
伸縮装置	HDJ-S2V20 (性能・材料費) 同等以上	m	6.685	6.685	6.685	20.055	鋼鉄製・荷重支持型 (別途割増材必要)
補強鉄筋	2-D13×6.69	kg	13.31	13.31	13.31	39.93	0.995kg/m
金属拡張アンカー	M16	本	118	118	118	354	
寸切りボルト	M16	本	118	118	118	354	
特殊座金A		個	30	30	30	90	
特殊座金B		本	60	60	60	180	
支持棒	φ6×500	本	16	16	16	48	
無収縮モルタル	crck-24N/m ² 以上	m ³	0.187	0.187	0.147	0.521	
樹脂モルタル	ドーロガード同等以上	本	0.040	0.040	0.033	0.113	(別途割増材必要)

型式	規格	単位	A1	A2	P1	合計	備考
			車道用	車道用	車道用		
HDJ-S2V20 (性能・材料費) 同等以上	定尺 (L=900)	本	6	6	6	18	鋼鉄製・荷重支持型
	端部	本	2	2	2	6	

伸縮装置規格表

取替位置	規格	歩車道区分	積雪対応	設置方向	構造分類	常時設計伸縮量	地震時伸縮量 (橋軸垂直)	地震時伸縮量 (橋軸平行)	床版造り間量
A1橋台	鋼製ジョイント	車道	無	道路横断	荷重支持型	0mm	—	—	20mm
P1橋脚	鋼製ジョイント	車道	無	道路横断	荷重支持型	20mm	—	—	20mm
A2橋台	鋼製ジョイント	車道	無	道路横断	荷重支持型	20mm	—	—	20mm

補修工法一覧

工法	種別
伸縮装置補修工	伸縮装置取替

注記)

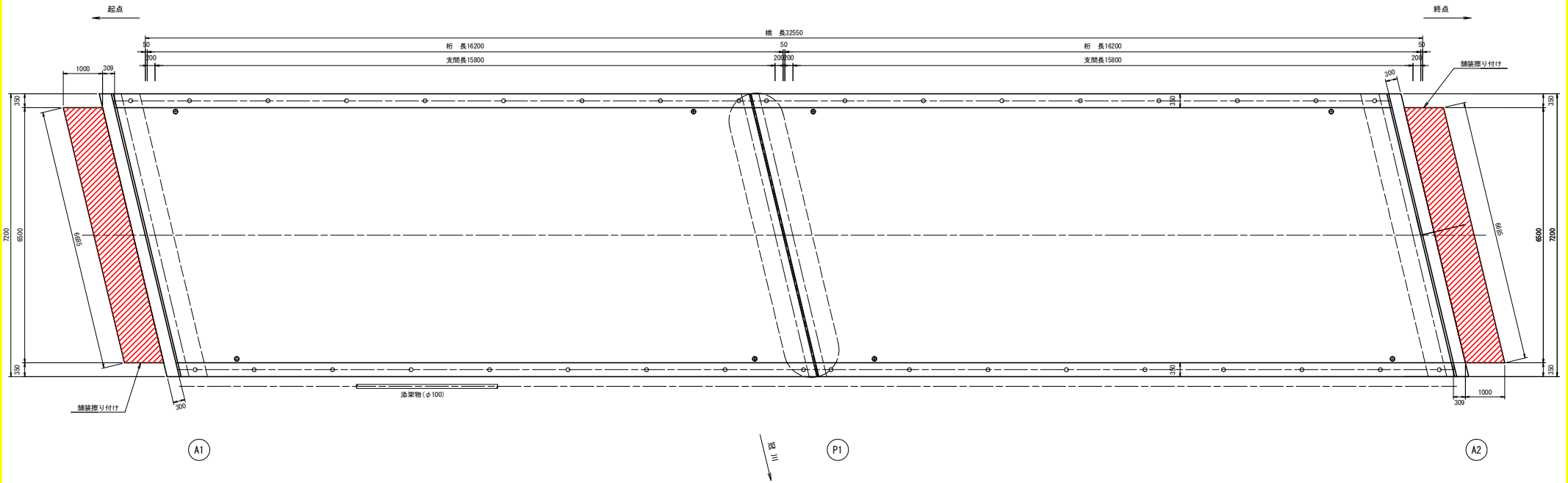
1. 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、協議を行うこと。
2. 表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。
3. 地震時の止水強化のため、シール工を行うこと。
4. 剛性の違いによる段差発生防止を考慮し、橋台側の伸縮装置幅はバラベツ幅としている。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	伸縮装置取替工補修図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図示	図面番号	22/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

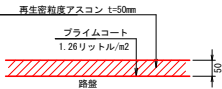
太郎丸橋 段差解消工補修図

S=1:50

平面図



車道部舗装構成詳細図



補修工法一覧

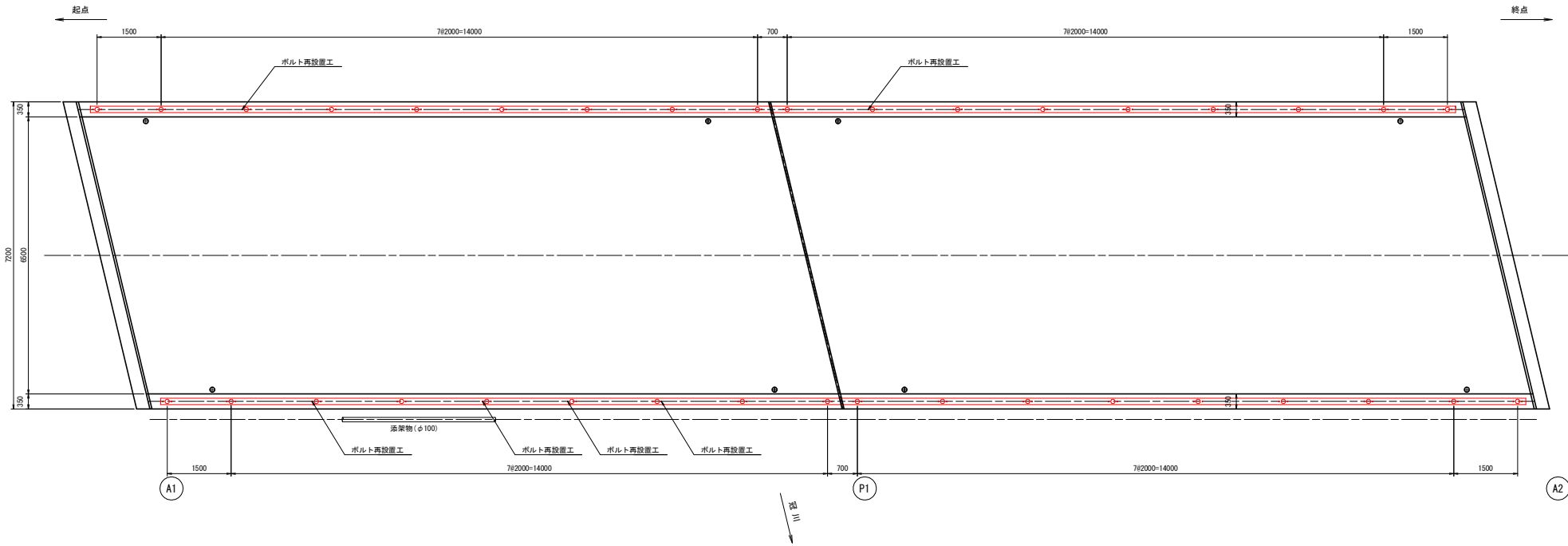
工法	種別
段差解消工	再生密粒度アスコン

注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
3. 掘り付け範囲は伸縮設置後打ちコンクリート端から1mとしているが、現地状況に応じ適宜延長すること。

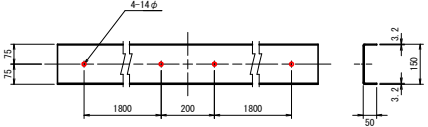
工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	段差解消工補修図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:50	図面番号	23/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

太郎丸橋 ボルト再設置工補修図

平面図 S=1:50

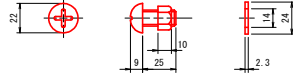


笠木 S=1:10



取付ボルト S=1:2

M12×25



補修工法一覧

工法	種別
ボルト再設置工	普通ボルトナット締め付け

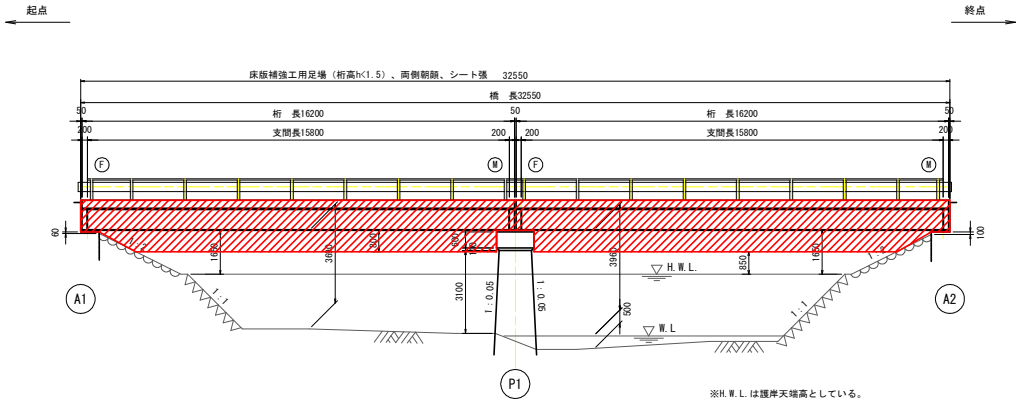
注記)
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	ボルト再設置工補修図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図示	図面番号	24/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
免注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

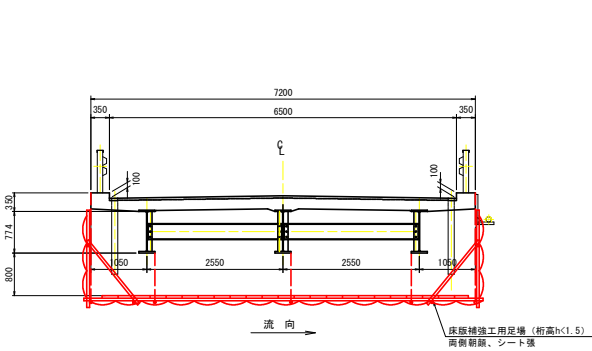
太郎丸橋 施工計画図（その1）

上部工施工

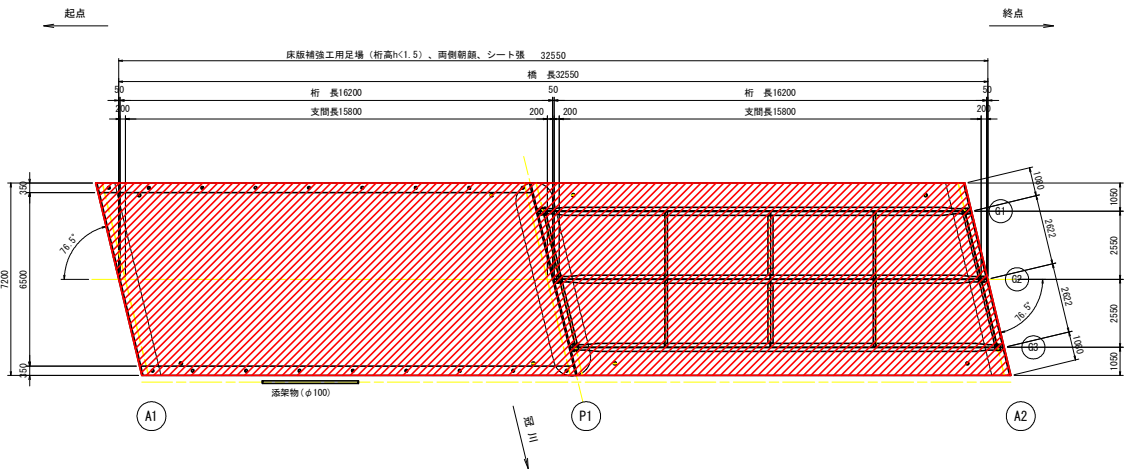
側面図 S=1:100



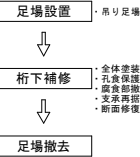
断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



補修施工手順
上部工施工



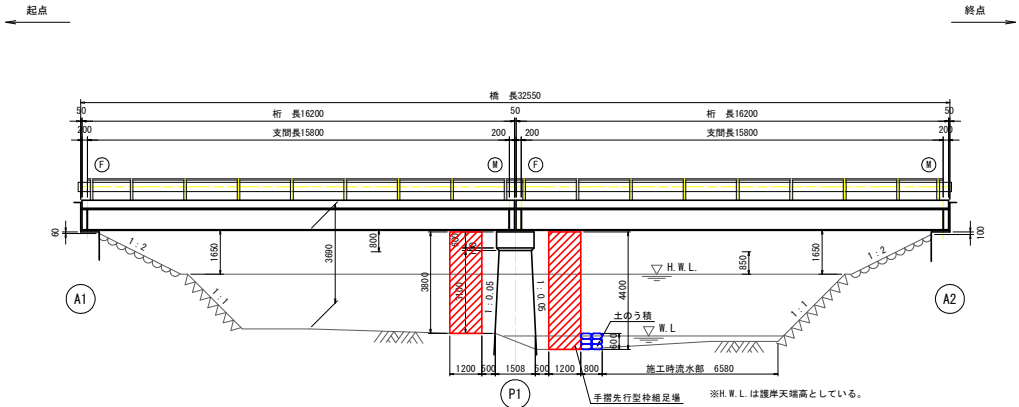
注記)
1. 本図面は、現地計測により還元しているため、高精度でないことに留意すること。
2. 支保再据付工の支保復受時は、死荷重しか考慮していないため、必ず通行止にして施工すること。
3. 支保再据付工は、橋脚のASR対策より前に施工を行うこと。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	施工計画図（その1）		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	25/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

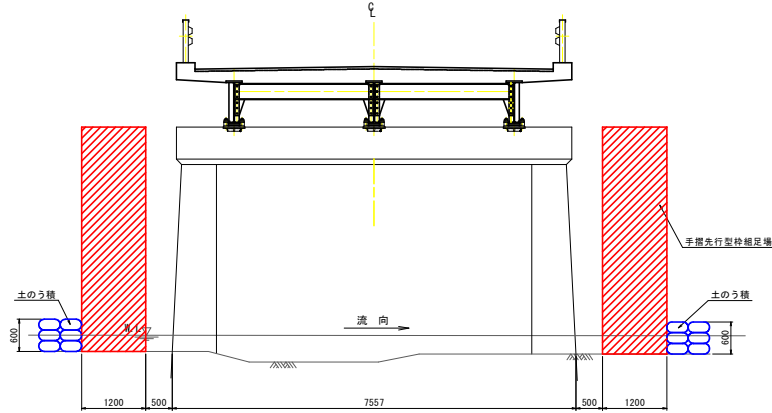
太郎丸橋 施工計画図（その2）

下部工施工

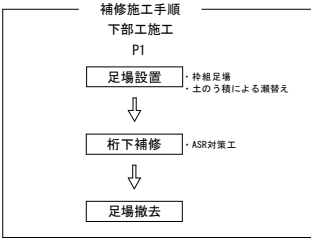
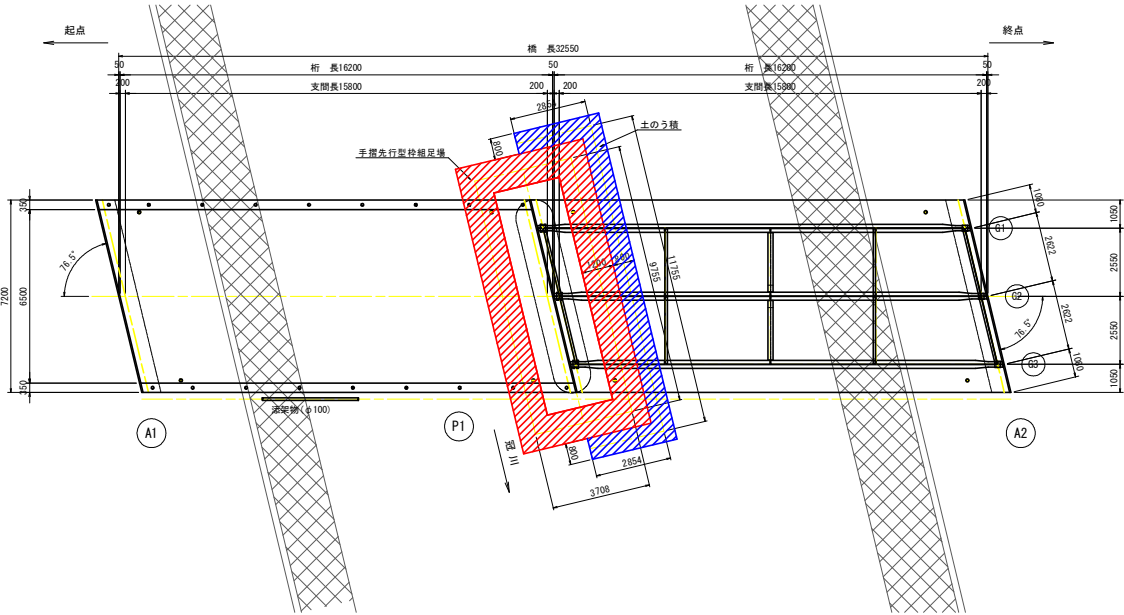
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



- 【注記】
1. 本図面は、現地計測により復元しているため、高精度でないことに留意すること。
 2. P1橋脚の枠組足場は橋面より荷下ろしすること。
 3. P1橋脚の施工はドライ施工が望ましいため枠組足場に近接して土のう積を設置すること。
 4. 河川内での作業となるため非出水期により施工を行うこと。
 5. ASR対策工の施工時は、河川汚濁しないように飛散防止に努めること。
 6. 河川増水時はオーバーフローを基本とするが、資機材が流失しないように撤去すること。

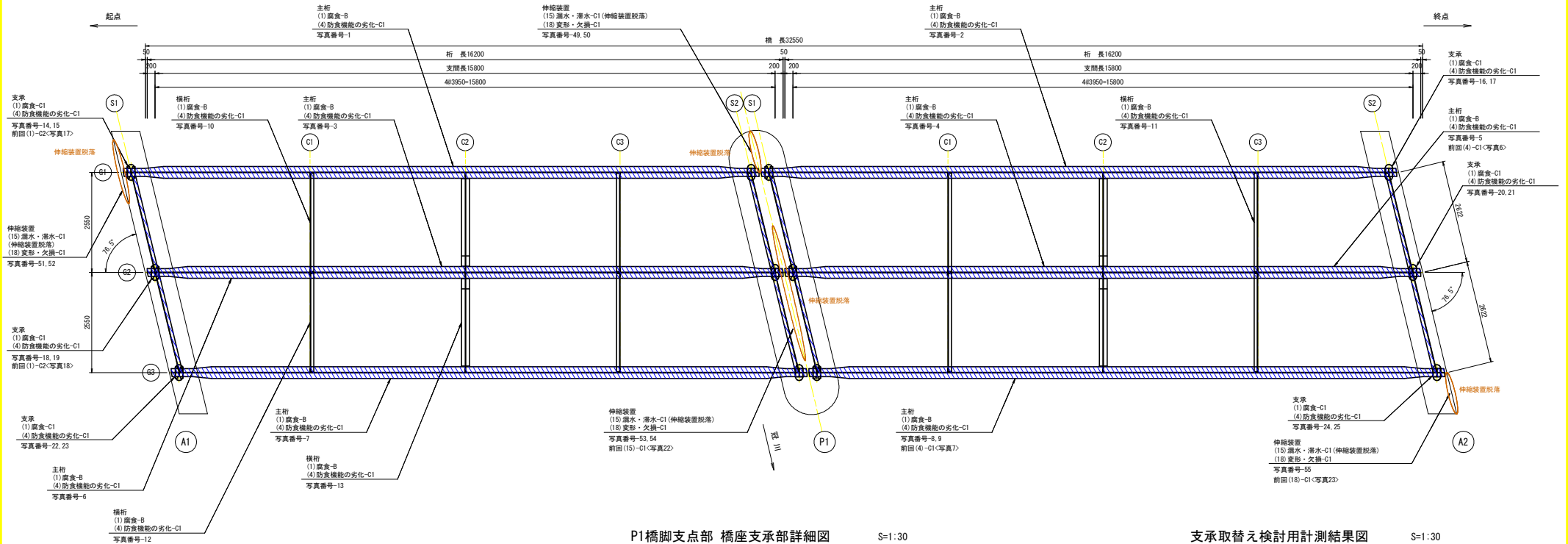
工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	施工計画図（その2）		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	26/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

太郎丸橋 上部工損傷図（その1）

S=1:50

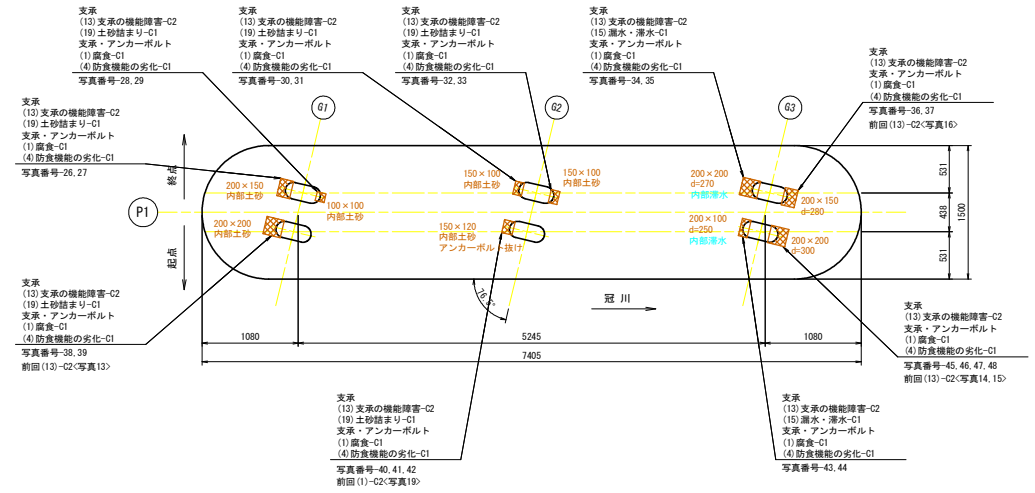
主桁・横桁・支承・伸縮装置

※主桁・横桁端部の腐食詳細図を損傷図（その2）（その3）に示す。



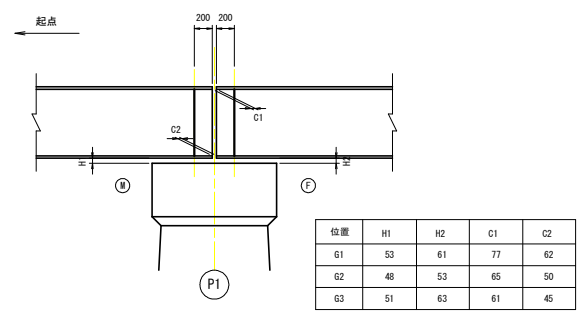
P1橋脚支点部 橋座支承部詳細図

S=1:30



支承取替え検討用計測結果図

S=1:30



損傷凡例

損傷の種類	表 示
ひびわれ	0.2mm未満
	0.2mm以上1.5mm未満
	0.5mm以上1.0mm未満
	1.0mm以上
うき	U
剥離・鉄筋露出	H
鉄筋露出	T
漏水・滞水	R
遊離石灰	Y
腐食	
その他	

※橋座は全体的に土砂堆積が見られた為、撤去後変状確認を実施した結果である。

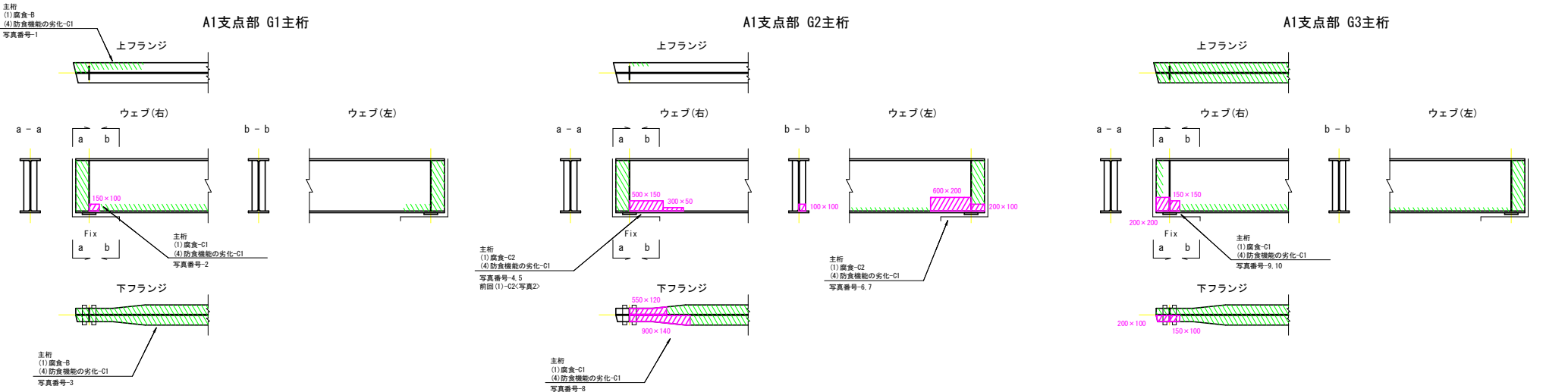
太郎丸橋 上部工損傷図 (その2)

S=1:30

主桁・横桁

A1支点部 G2主桁

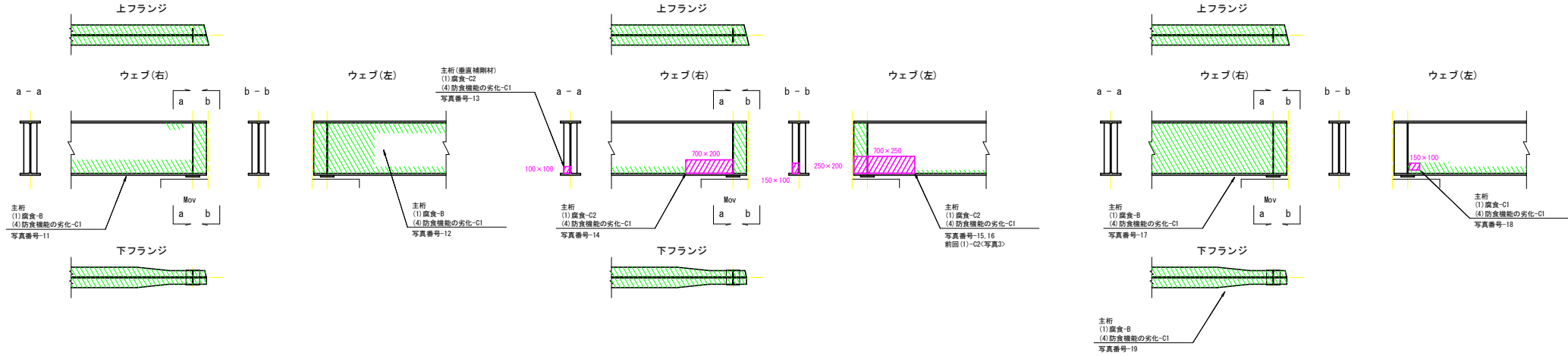
A1支点部 G3主桁



P1支点部 (起点側) G1主桁

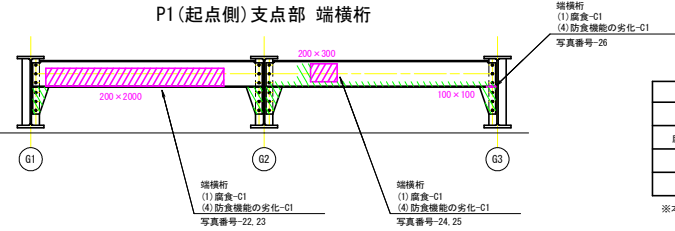
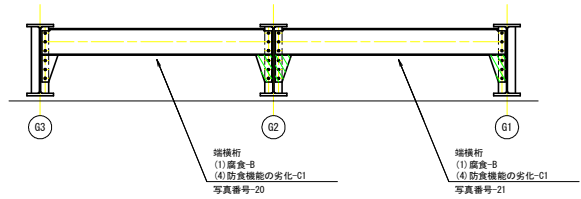
P1支点部 (起点側) G2主桁

P1支点部 (起点側) G3主桁



A1支点部 端横桁

P1 (起点側) 支点部 端横桁



腐食凡例

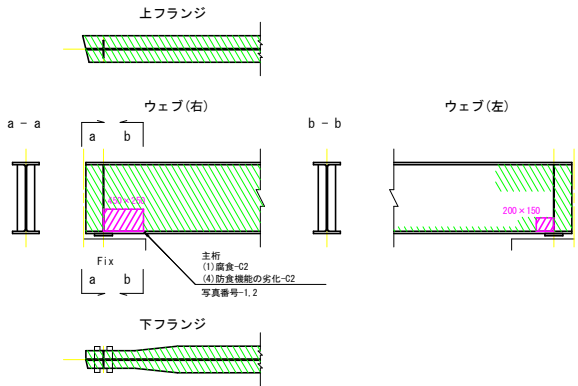
損傷の種類	表示
腐食 (表面のみ)	
腐食 (板厚減少、著しい腐蝕)	
断面欠損、貫通孔	
その他	

※本図は腐食詳細図を示す。

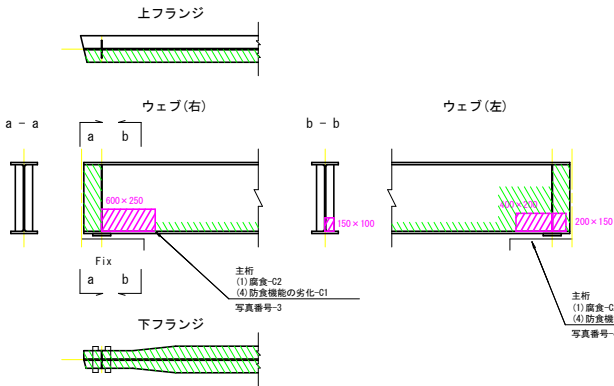
工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】
図面名	上部工損傷図 (その2)
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	1:30 図面番号 28/33
会社名	株式会社 ウエスコ
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課

主桁・横桁

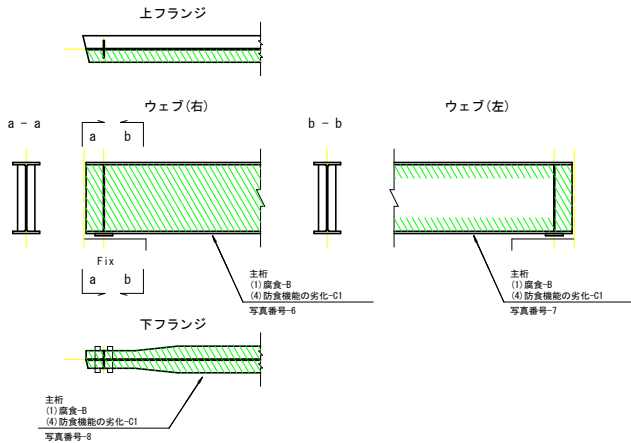
P1支点部(終点側) G1主桁



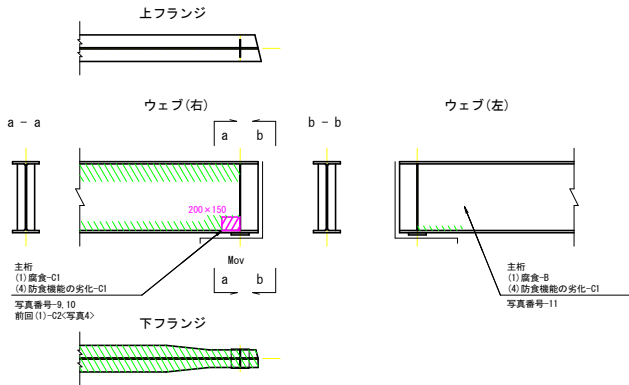
P1支点部(終点側) G2主桁



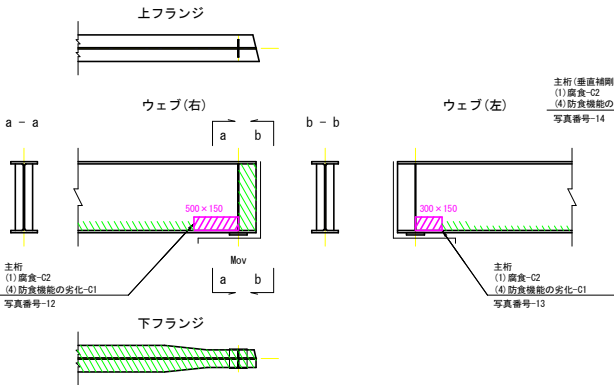
P1支点部(終点側) G3主桁



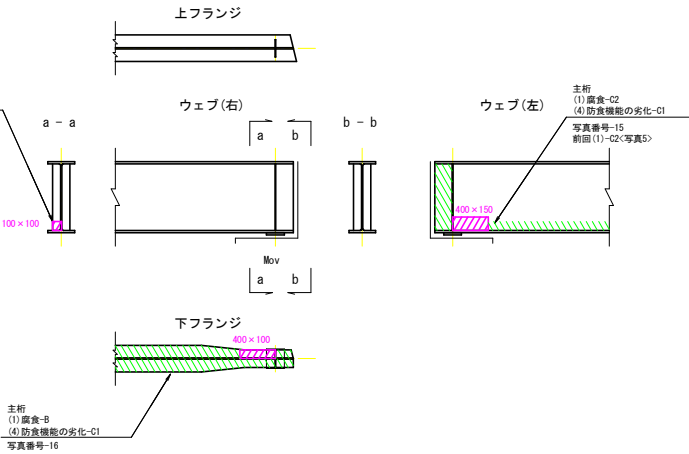
A2支点部 G1主桁



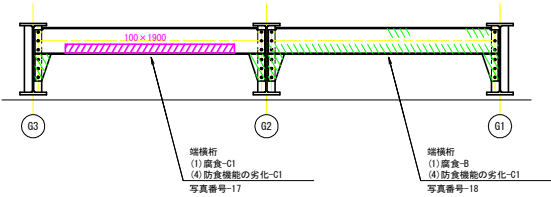
A2支点部 G2主桁



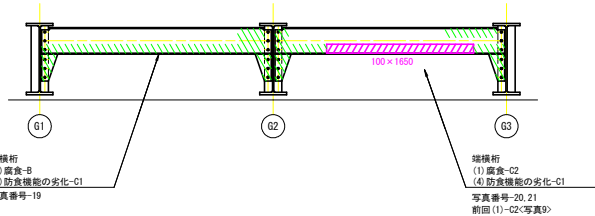
A2支点部 G3主桁



P1(終点側)支点部 端横桁



A2支点部 端横桁



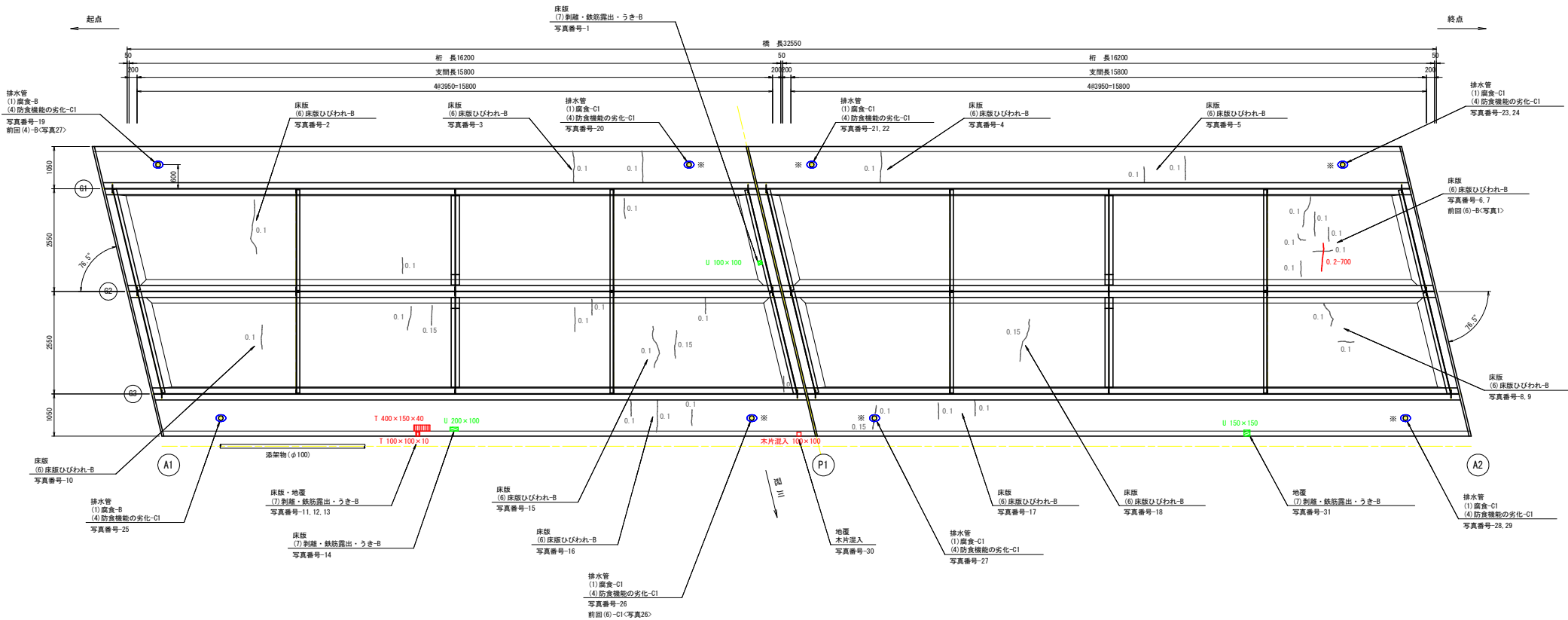
腐食凡例

損傷の種類	表示
腐食(表面のみ)	
腐食(板厚減少、著しい腐蝕)	
断面欠損、貫通孔	
その他	

※本図は腐食詳細図を示す。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】
図面名	上部工損傷図 (その3)
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	1:30 図面番号 29/33
会社名	株式会社 ウエスコ
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課

RC床版・排水管

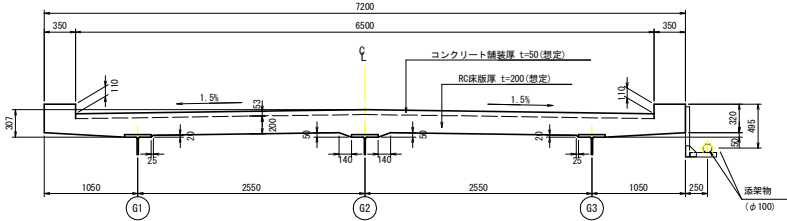


損傷凡例

損傷の種類	表 示
ひびわれ	0.2mm未満 0.1
	0.2mm以上0.5mm未満 0.2
	0.5mm以上1.0mm未満 0.5
	1.0mm以上 1.0
うき	U
割断・鉄筋露出	割断・ジャンカ H
	鉄筋露出 T
漏水・湧水	R
遊離石灰	Y
腐食	腐食
その他	その他

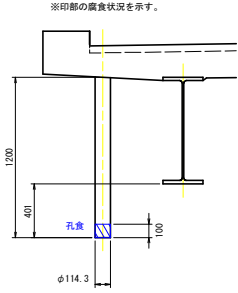
床版 標準断面図

S=1:30



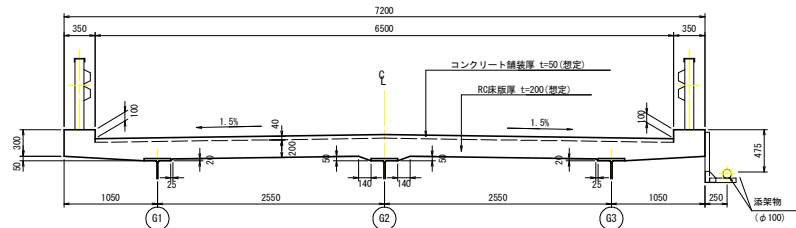
排水管腐食詳細図

S=1:20



工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】
図面名	上部工損傷図（その4）
作成年月日	令和 年 月 日
縮尺	1:50 図面番号 30/33
会社名	株式会社 ウエスコ
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課

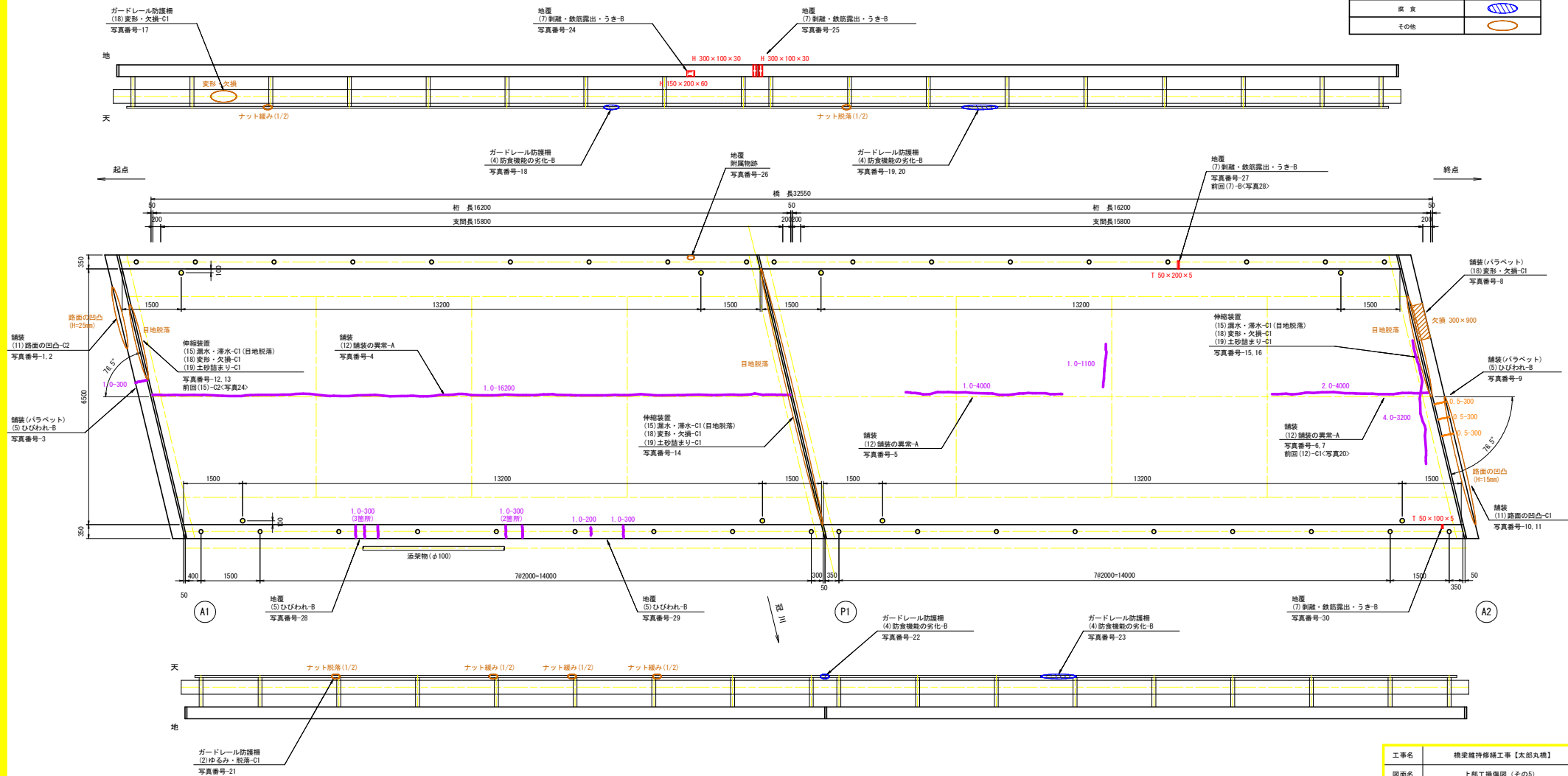
橋面 標準断面図 S=1:30



太郎丸橋 上部工損傷図 (その5)

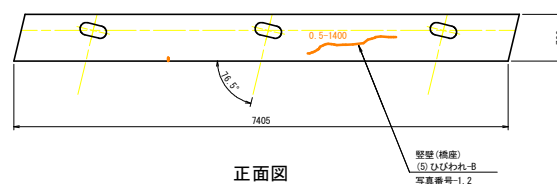
S=1:50

橋面

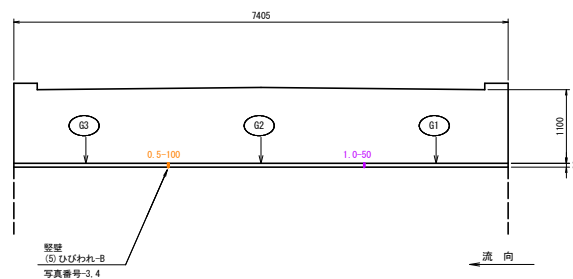


S=1:40

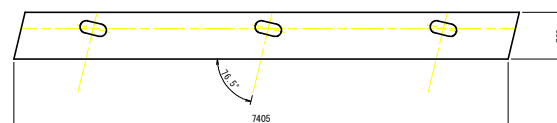
平面图



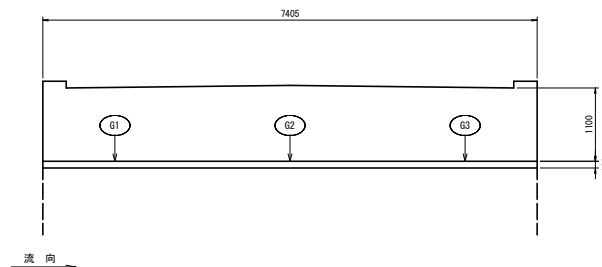
正面図



平面图



正面図



※橋座は全体的に土砂堆積が見られた為、撤去後変状確認を実施した結果である。

工事名	橋梁維持修繕工事【太田丸橋】		
図面名	下部工損傷箇所（その1）		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:40	図面番号	32/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		

太郎丸橋 下部工損傷図 (その2)

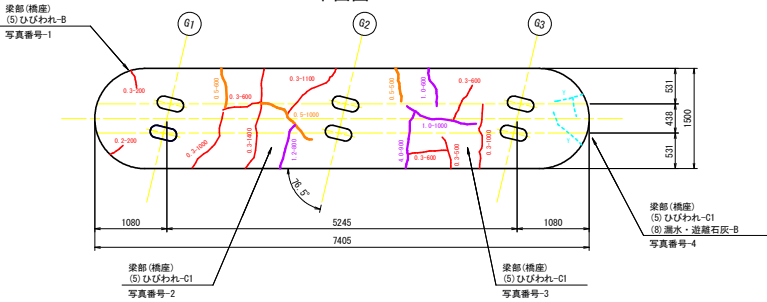
S=1:40

損傷凡例

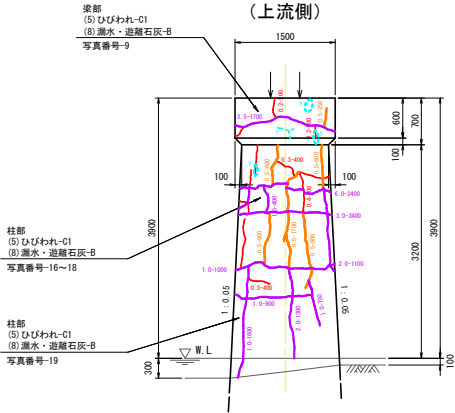
損傷の種類		表示
ひびわれ	0.2mm未満	0.1
	0.2mm以上0.5mm未満	0.2
	0.5mm以上1.0mm未満	0.5
	1.0mm以上	1.0
うき		U
剥離・鉄筋露出	剥離・ジャンカ	H
	鉄筋露出	T
漏水・湧水		R
遊離石灰		L
腐食		D
その他		O

P1 橋脚

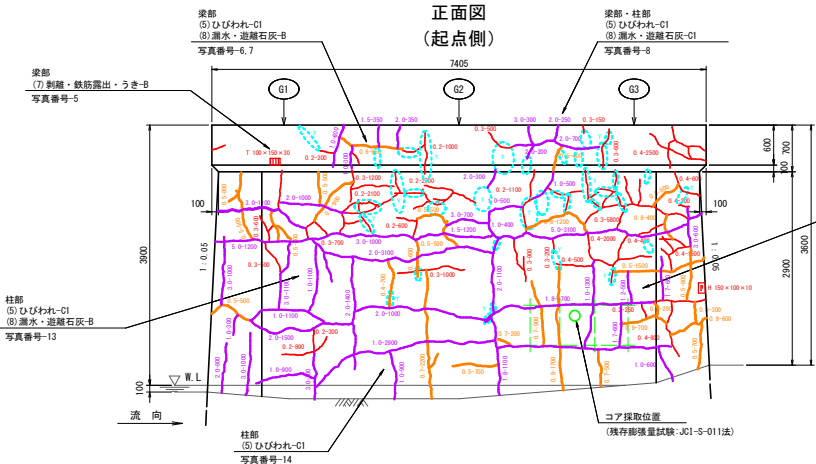
平面図



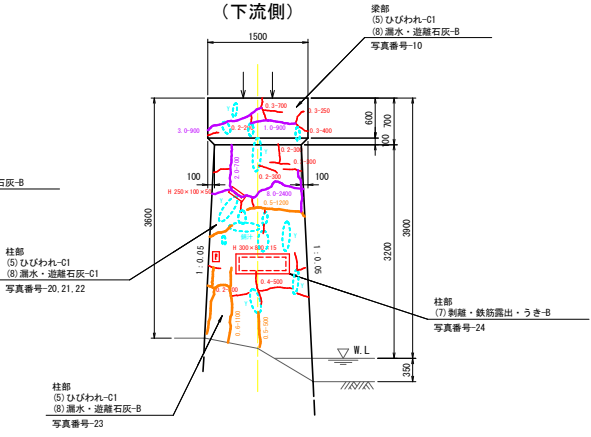
側面図
(上流側)



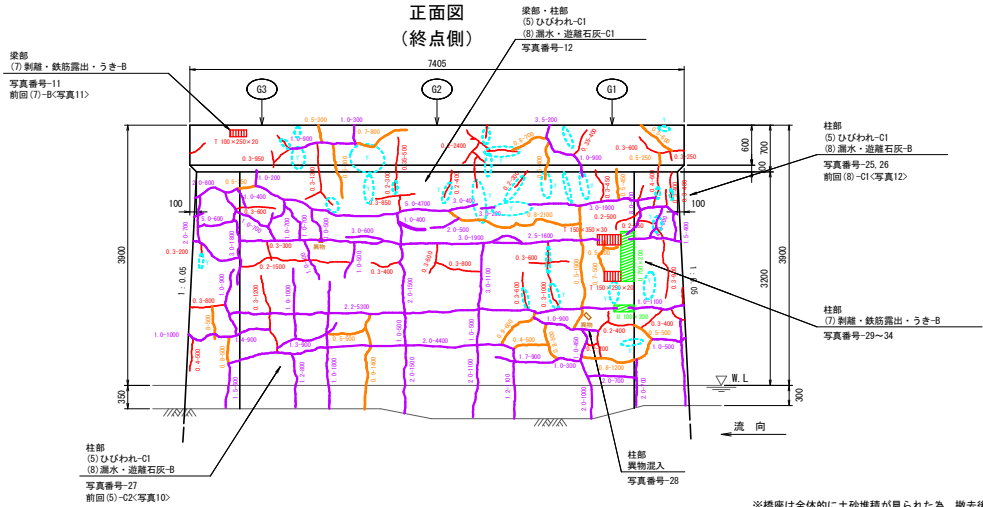
正面図
(起点側)



側面図
(下流側)



正面図
(終点側)



※橋座は全体的に土砂堆積が見られた為、撤去後実状確認を実施した結果である。

工事名	橋梁維持修繕工事【太郎丸橋】		
図面名	下部工損傷図 (その2)		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮尺	1:40	図面番号	33/33
会社名	株式会社 ウエスコ		
発注者名	広島県 山県郡 北広島町 建設課		